

●編集発行  
 公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構  
 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会  
 〒963-0115 福島県郡山市南2丁目52番地 ビッグパレットふくしま3階  
 TEL(024)947-4400 FAX(024)947-4475

■郡山地域テクノポリス推進機構ホームページ <http://www.techno-media.net6.or.jp/>  
 ■インキュベーションセンターホームページ <http://www.techno-media.net6.or.jp/incubation/>  
 ■Eメール [テクノポリス] [techno@nm.net6.or.jp](mailto:techno@nm.net6.or.jp)  
 [ニューメディア・コミュニティ] [info@nm.net6.or.jp](mailto:info@nm.net6.or.jp)

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構は、高度技術産業の集積による新事業創出を導く、東北のサザンクロス(南十字星)となることを目指します。

●ごあいさつ

## 「創立30周年に思う」

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 理事長 丹治一郎…… P01

●特別寄稿

## 工学部の近況

日本大学 工学部長 出村克宣…… P02

## 医療機器産業の発展に向けて

一般財団法人ふくしま医療機器産業推進機構 理事長 菊地 真… P03

### 郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議

- 郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議 …… P05
- 受発注推進部会 …… P06
- 研究開発推進部会 …… P07
- サステナブル地域づくりフォーラム …… P07
- 健康医療福祉産業創生フォーラム …… P08
- イノベーションテクノロジーフォーラム …… P09
- 第16回 産・学・官連携フォーラム …… P09
- 福島県再生可能エネルギー次世代技術開発事業の報告 …… P10

### 人材育成事業

- Meister's College 2015 (マイスターズ・カレッジ2015) …… P11
- ちびっ子マイスターズ・カレッジ …… P12

### 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

- インキュベーションセンターの紹介 …… P13
- 入居者紹介 …… P13
- 入居者成果発表会を開催 …… P14
- NUBIC(日本大学産官学連携知財センター) 郡山サテライトの開設 …… P14

### 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

- 情報化人材育成・研修事業 …… P15
- ICT高度利用推進事業 …… P15
- ICT交流事業 …… P16

### テクノナウ

- アドホック研究会 …… P17
- テクノポリス新春講演会 …… P18
- サイエンスツアー(くらしの工学を学ぼう) …… P18
- 各種助成事業 …… P19
- 産総研福島再生可能エネルギー研究所(FREA)に「スマートシステム研究棟」が完成 …… P19
- 福島県環境創造センター グランドオープンのお知らせ …… P19
- 第10回 江原医療機器展示会 GMES2015(韓国) …… P20
- こおりやま産業博 KORIYAMA EXPO 2015 …… P20
- ふくしま復興・再生可能エネルギー産業フェア2015 …… P20
- メディカルクリエイションふくしま2015 …… P20

### テクノインフォメーション

- 平成28年度の主な事業・イベント …… P21
- 周年記念事業の紹介 …… P21
- コラム 技術コーディネーターから …… P22
- 平成27年度 理事会等の開催報告 …… P22
- 役員・職員等の紹介 …… P23

## 創立30周年に思う

公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構

理事長 丹 治 一 郎



昨年の郡山商工会議所90周年に続き、今年は郡山地域テクノポリス推進機構の創立30周年と、ものづくりインキュベーションセンターの開所10周年を迎えます。

当財団は、圏域企業の研究開発促進や、新事業の創出育成、技術の高度化やそれを担う人材の育成、そしてこれら事業の推進のため産学官連携を柱に、その時その時の時代背景、外部環境の変化に対応し積極的に事業を推進してまいりました。

特に平成18年にオープンした「郡山地域ものづくりインキュベーションセンター」は、当財団の中核を担うものであり、新たに事業を開始しようとする方や新事業に取り組む企業等を対象に、大学等と連携し新製品の研究開発をする『場』と、試作するための『設備』を低廉な料金で提供し、経営・技術面での支援のための『人材』、そして研究開発の成果を広く発表する『機会』を設ける目的で、日本大学工学部の敷地内に設置させていただいたものです。

これまで、37社の利用があり、うち県外の企業も16社と半数近くになっております。

利用いただいた企業の中には、開発した製品が日刊工業新聞賞受賞のものや、新製品が社内の新規分野進出になった企業、圏域内工業団地に新工場建設になった企業もあり、所期の目的を果たしていただいた企業も多い状況となっております。

企業支援室は、実験室タイプと事務室タイプの計11室を設けておりますが、現在1室が空き室と

なっており、圏内外の多くの企業の皆様、起業を考えている皆様にこの施設をもっと活用できるよう積極的なPRを行ってまいりたいと思います。

震災から5年が経過し、復興・再生に向かう中、郡山地域テクノポリス圏域は、産総研「福島再生可能エネルギー研究所」の開所に続く「福島医療機器開発支援センター」、「福島県環境創造センター」の開所予定もあり、本県の復興を牽引する大きな可能性を秘めた地域であります。

圏域企業の皆様にとって、もっと技術の高度化を図りたい、新分野への進出を考えたい、こうした要望に応えるためにも当財団の果たす役割は大きいものがあります。

一方で、財団は基本財産の運用益を活用した事業が基本になりますが、低金利、マイナス金利を迎えるなかで、運用益確保が厳しい状況も予想され、運用益を活用した事業展開は少し縮小せざるを得ない状況にもあります。

このような状況にありますが、国や県、関係自治体の施策に積極的に応えようとするとともに、これまで蓄積した「ものづくりインキュベーションセンター」の機能や技術コーディネーターによる支援、そして大学や研究機関、国等の研究機関、支援センター等との連携を深め、何よりも皆様方から評価される活動があって初めて財団の存在があることを肝に銘じつつ、さらに励んでまいりたいと考えます。

関係各位のなお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

# 工学部の近況

日本大学 工学部長 出村 克宣



工学部の最新の話題は、本年4月、東側校地内に学生寮「バンデリアン郡山」がオープンしたことであり、その名称は「絆」を意味するドイツ語とフランス語の読みを綴ったものである。同時に、学生寮を囲むコンクリート製万年塀をフェンスに取り換え、通学路が若干拡張されている。通学路は見通しもよくなり、道路の雪解けが早くなるという副次的効果も生まれ、安全性が向上した。その整備にご理解をいただいた近隣住民の皆様や郡山市に、紙面を借りてお礼を申し上げる。

さて、日本大学は、養成すべき人材像として「自主創造型パーソン(日大人)」を掲げている。自主創造とは自ら考え、自ら学び、自ら道をひらく精神のことであり、積極的に社会に関わっていく活力ある人間を育てたいと考えている。加えて、大学は、教養も含めた基礎力と専門力を磨く場であり、その学修内容と到達目標に大学間格差があってはならないとの視点に立ち、教職員一丸となって教育活動を展開している。

工学部の学生数は大学院生も含めて約4,900名、その約6割が県外出身者で、様々な地域出身の学生間の交流が価値観を広げることに繋がっている。又、正課授業に加えて、教職課程や臨床工学技士課程があり、85のクラブ・サークル活動も活発で、授業の合間に受講できる年間100時間のネイティブスピーカーによる課外英会話講座も開講している。

このような教育環境下での学修成果として、平成27年度の就職率は99.5%であった。平成28年3月、3日間にわたり実施した就職セミナーでは、一流企業や上場企業など全国から延べ769社の採用担当者がキャンパスを訪れ、学生との面談が行われた。又、校友の力も借りて就職支援活動を強化している。現在、日本大学の卒業生は111万3千人を超えており、その半数が現役といわれている。我が国の20歳以上の人口が約1億人なので、成人の200人に一人という割合であり、学生の就職活動や卒業生が社会で活躍する時には、この日大ネットワークが大きな力となっている。

一方、研究活動は教育活動の基盤である。工学分野の研究は、細分化された領域で行われているのが現状であり、工学部の研究者はその研究対象分野において優れた成果を挙げ、所属学会等においては著名な者も多い。そのような研究力を背景に、工学部内では異分野の研究者による連携プロジェクトも展開されており、郡山地域テクノポリス推進機構との事業展開につながっている。

大学の研究力の評価には、競争的資金の獲得実績が用いられる。最もよく知られるのが日本学術振興会の科学研究費助成事業による科学研究費(科研費)である。国公立大学を含む全ての大学からの応募に対して、平成27年度における私立大学の新規採択率は25.9%と狭き門であった。科研費は数年の研究期間で応募できるので年度の新規分と継続分があり、それらを合わせた平成27年度の配分額は2,154億円、私立大学にはその17.9%が配分されている。現在、私立大学は604校あり、日本大学は約10億2千万円の科研費を獲得して私学で第3位、工学部は約1億円の科研費を得ている。このことは、本学における活発な研究活動の表れである。

下図に示すように、工学部では多くのことにチャレンジしている。今後とも、日本大学工学部の知的財産の活用という観点から、郡山地域テクノポリス圏域の企業と連携した活動を推進したい。



# 医療機器産業の発展に向けて

一般財団法人ふくしま医療機器産業推進機構

理事長 菊地 眞



医療機器の開発並びに産業振興は、行政・業界努力により過去に類を見ないほど充実しつつある。その成果の一つとして、福島県は、平成26年薬事工業生産動態統計年報(厚生労働省)において、医療機器生産額が1,303億円で全国第3位、医療機器受託生産金額が433億円で全国第1位、平成26年工業統計調査(経済産業省)において、医療用機械器具の部品等生産金額が177億円で全国第1位であるなど、全国有数の医療機器産業の集積地域として成長してきている。

また、医療機器関連産業は、高齢化社会のなかで「健康増進」と「経済成長」を持続的に支える産業として期待されている。その期待に応えるためには、医療機器の開発(入口)から上市(出口)、さらに市場獲得までには現場ニーズの把握、試作・開発、臨床治験、薬事申請、知的財産対応、事業化戦略など多くの課題があり、それらをシームレスに支援する体制が必要である。

いよいよ本年秋には、医療機器の開発から事業化までの一体的な支援を行う国内初の拠点として「ふくしま医療機器開発支援センター」が福島県郡山市に開所する。当センターは、「ものづくり企業の集積を活かした医療機器製造・実用化・改良の推進」並びに「ものづくり及び医療を支える現場の人材育成・訓練機能の提供」の2つのコンセプトのもと、約11,000㎡の建物に、(1)安全性評価機能、(2)人材育成・訓練機能、(3)コンサルティング・情報発信機能、(4)マッチング支援機能の4つの機能を備える。

(1)最大の特徴である安全性評価機能では、①「生物学的安全性試験」と②「電氣的・物性(物理的・化学的)試験」の双方を実施することができ、ISO17025、医療機器GLP省令及びAAALAC等の試験機関に必要な認証を取得予定であり、信頼性の高いサービスの提供が期待されている。

①「生物学的安全性試験」は、ISO10993並びに医療機器GLP省令、OECD化学物質試験法ガイドライン、AAALAC、「医療機器の製造販売承認申請等に必要な生物学的安全性評価の基本的考え方」(平成24年3月1日薬食機発0301第20号)等に基づき、実験用ブタ等を使用した安全性評価を行う。同評価では、それぞれの医療機器の接触部位と接触期間に応じて必要な評価項目を設定し、生体への影響を評価する。主な試験設備として、実験用ブタ最大150頭飼育可能な飼育室や手術室、アンギオハイブリッド手術室、MRI室等の整備が進められている。

②「電氣的・物性(物理的・化学的)試験」では、IEC60601等の規格に基づき、医療機器の電氣的安全性を総合的に評価することを目的とした各種試験を実施する。例えば、電磁波の影響を評価する電磁両立性(EMC)試験、故障時でも身体の安全が確保されるかを評価する漏れ電流測定、耐電圧試験等の電気試験、部品の強度を測定する引張試験、曲げ試験等の物性試験、有害物質の有無を確認する分析試験等を行う。これらの試験を

行うため、主な設備として、10m法、3m法電波暗室やシールドルーム、万能材料試験機、LC/MS/MS等の整備を行っており、開所後はワンストップで医療機器の安全性評価を実施する。

(2)「人材育成・訓練機能」では、模擬手術室等を整備し、実際の臨床現場に即した環境を提供する。そこでは、医療に貢献する人材の教育・訓練をサポートするとともに、医療機器開発に携わる企業の方々にも、同様の環境を提供することで、医療機器の開発・改良に実際の臨床現場に即した促進を図る。両者を行うことにより、医療機器の操作技能向上を図るとともに、医療機器の安心、安全な使用への貢献が期待されている。

(3)「コンサルティング・情報発信機能」では、医療

機器開発への新規参入や事業化に取り組む中小企業向けに、医療機器開発・改良に関するニーズの収集・提供から、製品開発への助言、関連する法律のアドバイスまで総合的な支援を行う。

(4)「マッチング機能」では、部材供給、量産・OEM供給に応じるため、ものづくり企業と国内外医療機器メーカーとの企業間のマッチング支援、各種展示会の開催や出展支援、セミナー等を通じた情報提供を行う。

一般財団法人ふくしま医療機器産業推進機構は、冒頭で述べたシームレスな支援をすでに実施しており、当機構が指定管理者として本センターを運営することで、「ふくしまを核とした日本の医療機器関連産業のさらなる発展」が期待されている。

### ふくしま医療機器開発支援センター(平成28年秋 開所予定)

福島県では、復興への重点プロジェクトである医療関連産業集積を一層加速させるための拠点として、ふくしま医療機器開発支援センターの整備を進めています。

このセンターは、医療機器の安全性評価、企業のマッチングやコンサルティング、医療従事者のトレーニング等を総合的に実施し、医療機器の開発から事業化までを一体的に支援する我が国初の医療機器開発支援拠点です。

関連企業の新たな立地の促進、県内企業の取引拡大など、産業の復興、雇用の創出を図るとともに、医療関連産業の発展と医療の安全性の向上に貢献してまいります。



福島県提供



福島県提供

## 郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議

戦略的アライアンス形成会議は、郡山テクノポリス地域などの中小製造業者が保有する技術力、設備、営業力等の潜在能力を戦略的に活用する組織（アライアンス）を構築することによって、高度な研究開発、新しい受発注及び各種産業振興支援施策の担い手となり、地域産業の活性化を図ることを目的としています。

平成28年3月末現在、46社が参画しています。

平成27年度は、受発注の推進に向けた活動を強化し新たに企業製品発表会（プレゼン会）を開催し、回を重ねることに評価が増してあります。



総会でご講演いただいた福島大学奥本教授



役員会



全体会でのプレゼン風景

### 事業方針

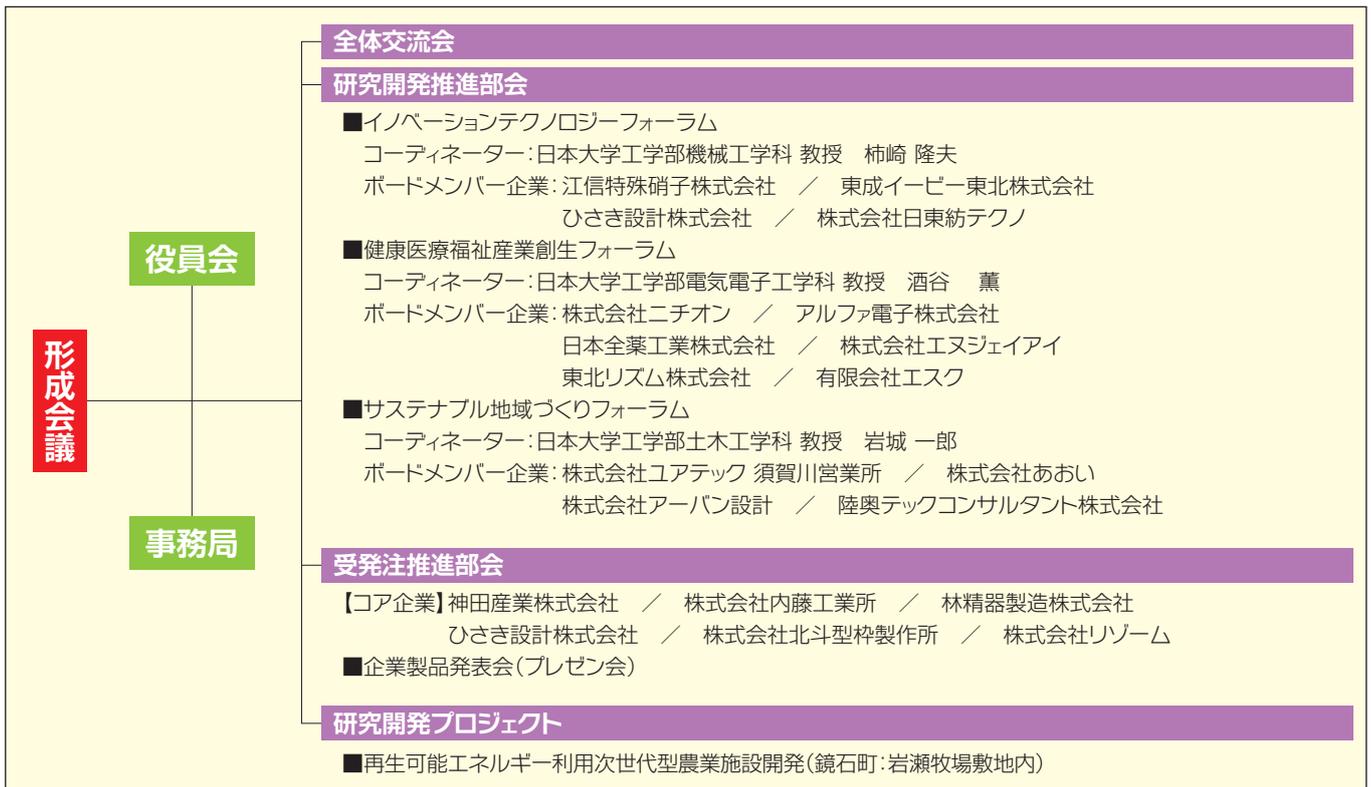
- ① 会員企業相互の強みを生かしたアライアンス（連携、協調）を強化することにより、新たに付加価値の創出を図るなど、技術力の向上と産業振興を目指す。
- ② 会員企業の技術連携を図り、高度技術や複合技術を必要とする難度の高い特注品・試作品・完成品等を含む受注の確保を目指す。
- ③ 会員企業の情報交換により、新製品・新商品の開発、ソフトウェアの開発、販売戦略などの成果実現を目指し、新事業の創出と活性化を図る。
- ④ 会員企業のアライアンス活動を通して、地域にアライアンス形成会議の知名度アップを図る。

当形成会議への入会は随時受け付けています。詳しくは、テクノポリス推進機構事務局までお問い合わせください。

### ●平成28年度 役員（敬称略）

最高顧問	高木茂保	エスケー電子工業(株) 取締役相談役
会長	内藤清吾	(株)内藤工業所 取締役会長
副会長	林 明博	林精器製造(株) 代表取締役社長
委員	吉田俊夫	(株)吉城光科学 取締役会長
委員	高橋晃一	(株)アーバン設計 代表取締役
委員	水上哲夫	(有)ぱすわーど 代表取締役
委員	桑原勝幸	(株)リゾーム 代表取締役社長
委員	神田雅彦	神田産業(株) 代表取締役
委員	森尾和衛	日本全薬工業(株) 常務取締役
委員	吉田慶太	ひさき設計(株) 代表取締役
監査	吾妻柄穂	日ノ出工機(株) 代表取締役
監査	遠藤正成	(株)北斗型枠製作所 代表取締役社長

### ●事業体系



## 1 会議・交流会等の開催

## (1)役員会

〔開催日〕 平成27年5月20日(水)  
 〔会 場〕 インキュベーションセンター会議室  
 〔参加者〕 16名  
 〔内 容〕  
 ・26年度事業報告及び収支決算報告について  
 ・27年度事業計画(案)及び予算(案)について  
 ・27年度役員(案)について

## (2)総会・交流会

〔開催日〕 平成27年6月10日(水)  
 〔会 場〕 ホテルハマツ  
 〔参加者〕 28名  
 〔内 容〕  
 ・26年度事業報告及び収支決算報告について  
 ・27年度事業計画(案)及び予算(案)について  
 ・27年度役員について

- ・地域貢献を可能とする強い組織づくりのために  
 ～福島大学起業家育成の取り組みから～  
 (福島大学経済経営学類 教授 奥本 英樹 氏)
- ・福島県におけるロボット産業振興への取組と現状について  
 (福島県産業創出課 主幹 関根 義孝 氏)

## (3)全体会・交流会

〔開催日〕 平成27年9月29日(火)  
 〔会 場〕 ホテルハマツ  
 〔参加者〕 32名  
 〔内 容〕  
 ・特別企業紹介  
 株式会社菊池製作所 執行役副社長 一柳 健 氏  
 ・アライアンス会員企業による企業紹介  
 ひさき設計株式会社 代表取締役 吉田 慶太 氏  
 林精器製造株式会社 代表取締役社長 林 明博 氏  
 ・新製品紹介  
 株式会社吉城光科学「強化ガラス製液晶保護シート」

## 受発注推進部会

## 第1回 企業製品発表会(プレゼン会)

開催日 平成27年12月2日(水) 午前10時30分～  
 会 場 ビッグパレットふくしま1階マルチパーパスルーム1  
 参加者 34名

プレゼン会は、会員企業の有する専門的な技術、手法、情報、経験などを再認識することで、更なるアライアンスの強化を図ることを目的に始めた企画です。

第1回プレゼン会は初めて会員企業の紹介として開催し、会員企業3社から発表いただきました。

## 会員企業による企業紹介

1

## 神田産業株式会社

代表取締役 神田 雅彦 氏

2

## 株式会社吉城光科学

会長 吉田 俊夫 氏  
営業管理本部長 横田 良治 氏

3

## 陸奥テックコンサルタント株式会社

専務 長谷川 潔 氏



プレゼン会として初の単独開催



ハニリアルボードを解説する神田社長



企業の展示スペースを設置

## 第2回 企業製品発表会(プレゼン会)

開催日 平成28年2月25日(木) 午前10時30分～  
 会 場 ビッグパレットふくしま 3階研修室  
 参加者 39名

第2回プレゼン会では、前回発表いただいた神田産業株式会社のハニリアルボードによる、新製品「ハニリアルボード製バックパネル」が完成し、このプレゼン会で初披露しました。

また、今回から受発注の促進を図るため、発表企業と個別に連絡を取れる「企業連絡票」を配布し、「商談や連携等に活用できる」と評価いただきました。

## 会員企業による企業紹介

1

## 株式会社北斗型枠製作所

代表取締役 遠藤 正成 氏

2

## 株式会社アイワコーポ

代表取締役社長 鈴木 晃 氏

## 新製品紹介

## 「ハニリアルボード製バックパネル」 神田産業株式会社



新製品のバックパネルを前に品川市長が挨拶



人材育成に力を入れる北斗型枠製作所のPR動画を披露



多くの製品を展示したアイワコーポ

## コア企業会議

企業製品発表会など受発注推進に係る協議を7回行いました。

## 研究開発推進部会

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構では、産学官連携による研究開発体制の構築を目的に各種研究会活動を支援するとともに、大学等との連携により、技術シーズの紹介・提案、企業ニーズの大学等での検証、シーズとニーズのマッチングによる具体的な産学共同研究開発案件の掘り起こしなどを行っています。現在、分野別に『サステナブル地域づくりフォーラム』『健康医療福祉産業創生フォーラム』『イノベーションテクノロジーフォーラム』の3つのフォーラムが活動しています。

以下、フォーラムの活動状況を紹介いたします。



## サステナブル地域づくりフォーラム

地域住民の暮らしを支える社会インフラは、高度経済成長期に集中整備された道路や橋、上下水道施設、学校や庁舎等の老朽化が深刻化しています。また、中山間地では限界集落や災害時の孤立といった問題が顕在化することが予想されます。このような背景のもと、このフォーラムでは産学官が密接に連携しながら、地域住民とともに地域の強みや再生可能エネルギーを生かした持続可能で、自立した地域づくりを進めることを目的としています。

主催 (公財)郡山地域テクノポリス推進機構 / 日本大学工学部工学研究所

### 第1回 サステナブル地域づくりフォーラム ～持続可能で自立した地域づくりを目指して～

期日:平成27年7月9日(木) 14:30～ 場所:日本大学工学部50周年記念館3階AV講義室 参加:100名

コーディネーター 日本大学工学部土木工学科 教授  
岩城一郎 氏

テーマ1 **サステナブルな地域づくりを支える  
インフラ整備のあり方**

日本大学工学部 土木工学科 教授 岩城一郎 氏

テーマ2 **サステナブル地域づくりと  
水の将来ビジョン**

日本大学工学部 土木工学科 教授 中野和典 氏

テーマ3 **拠点づくりからはじまる  
サステナブルな地域づくり**

日本大学工学部 建築学科 准教授 浦部智義 氏

フォーラムでは、コーディネーターである日本大学工学部土木工学科の岩城一郎教授の挨拶と概要説明後、同教授から「サステナブルな地域づくりを支えるインフラ整備のあり方」と題し、近年の社会インフラの一斉老朽化の問題や産学官民の協働で道を造り、橋を守るプロジェクトについて紹介しました。

次に日本大学工学部土木工学科の中野和典教授が「サステナブル地域づくりと水の将来ビジョン」を、同学部建築学科の浦部智義准教授が「拠点づくりからはじまるサステナブルな地域づくり」をテーマに、それぞれご講演いただきました。

また、フォーラム終了後には、同会場2階のカフェテリアにおいて、ご講演いただいた3人の講師をお招きし意見交換会が行われました。参加者らは、お互い交流を深めながら、今後の地域づくりのための情報交換を行いました。



第1回サステナブル地域づくりフォーラム  
(第1部・フォーラム)



第1回サステナブル地域づくりフォーラム  
(第2部・意見交換会)

### 第2回 サステナブル地域づくりフォーラム 持続可能な地域づくりを目指して ～郡山市湖南町を考える～

期日:平成27年11月5日(木) 参加:37名

視察先:郡山市湖南町(ハーモニー湖南(旧三代小学校))/郡山市 日本大学工学部再生可能エネルギー共同研究施設(旧赤津小学校)

はじめに、統合によって廃校となった「旧三代小学校」を改築し、小規模多機能型居住介護施設及びグループホームとして活用している「ハーモニー湖南」を訪問。1階は介護施設として利用していますが、2階は廃校前の教室などをそのまま保存し、地域住民の憩いの場としても活用されています。

次に訪れたのは、旧赤津小学校。ここは、日本大学工学部が郡山市から校舎と校庭の施設提供を受け、「浅部地中熱」の利

用技術実用化を目指すために整備が進められていました。参加者は二つのグループに分かれ、校舎内と校庭の実験施設について説明を受けました。

視察見学を終了後、旧赤津小学校の音楽室をお借りして、当フォーラムのコーディネーターからの話題提供後、廃校の利用や湖南地域の現状など、意見交換が行われました。



ハーモニー湖南(旧三代小学校)  
外観



真剣に説明を聴く参加者  
(ハーモニー湖南)



二つのグループに分かれ、施設を見学  
(旧赤津小学校)



意見交換会で説明する  
岩城一郎教授



## 健康医療福祉産業創生フォーラム

健康医療福祉産業創生フォーラムは、当機構と日本大学工学部工学研究所が主催するフォーラムです。このフォーラムでは、今後とも市場規模が拡大すると考えられる健康・医療・福祉・介護分野まで広げ「新しい医療関連産業の創出・研究開発の推進」を目的としています。

**主催** 公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構  
日本大学工学部工学研究所

**共催** 日本生体医工学会専門部会  
「Active agingを支援するバイオメディカル工学研究会」

### 第1回 健康医療福祉産業創生フォーラム

期日：平成27年7月18日(土) 場所：日本大学工学部次世代工学技術研究センター 参加：90名

#### 第1部

#### 次世代ヘルスケアシステム“郡山モデル”の提案

講師：日本大学工学部 電気電子工学科 教授  
次世代工学技術研究センター長 酒谷 薫 氏

#### スローライフの国イタリアのスマートシティ計画

講師：ベルガモ大学 人間社会学部 教授  
Angelo Compare 氏

#### 第2部

#### ①健康社会造りの在り方や取組み

パネリスト：NJI 代表取締役社長 橋本 弘幸 氏

#### ②介護と医療についての現状

パネリスト：有料老人ホーム入居支援センター理事長 上岡 榮信 氏

#### ③高齢者においても外観からアプローチしてポジティブになる“メイクアップ”

パネリスト：スタイルプレゼンテーター 山口 遊子 氏

「超高齢化社会の医療・介護はどうなるのか？ FUKUSHIMA発の次世代ヘルスケアシステムを目指して」をテーマに、間もなく迎える超高齢化社会にあって、「将来の医療や介護」の在り方について、それぞれの立場からのご講演がありました。

第1部では、コーディネーター 酒谷 薫教授から先進医療とヘルスケア産業、再生可能エネルギー開発促進が一体となったFUKUSHIMA発の次世代ヘルスケアシステムの概念が紹介されました。次に、イタリアのベルガモ大学 人間社会学部のAngelo Compare教授から、スローライフの国イタリアのスマートシティ計画についての紹介がありました。

第2部では、パネルディスカッションが行われ3名のパネラーの方々それぞれに取り組まれている現状を報告され、間もなく迎える超高齢化社会にあっての在り方について、わかり易く紹介していただきました。



酒谷薫教授 講演



Angelo Compare教授 講演



パネルディスカッション

### 第2回 健康医療福祉産業創生フォーラム

期日：平成27年12月10日(木) 場所：日本大学工学部次世代工学技術研究センター 参加：55名

#### 第1部

#### 機械関連中小企業の医療・健康・福祉機器分野への参入状況と課題

講師：一般財団法人 機械振興協会 経済研究所  
次長 北島 守 氏

#### 大阪大学におけるヘルスケア分野の産学連携研究と教育システム

講師：大阪大学 国際医工情報センター  
特任准教授 八木 雅和 氏

#### 第2部

#### ふくしまヘルスケア産業プラットフォームの設立と今後の展開

講師：特定非営利活動法人 NPO ほづらい  
副理事長 高荒 弘志 氏

今回のフォーラムでは、『ふくしま・郡山の未来を築く次世代ヘルスケア産業を目指して』をテーマに、健康・医療・福祉産業分野への中小企業の参入事例ほか、次世代ヘルス産業の動向について3名の講師から講演がありました。

講演では、まず北嶋次長より「機械関連中小企業の医療・健康・福祉機器分野への参入状況と課題」と題して、アンケート調査に基づき中小企業の医療機器分野への参入状況や健康・福祉機器産業における中堅・中小企業の販路拡大に向けた課題など産業界の動向を解説していただきました。

八木特任准教授からは、「大阪大学におけるヘルスケア分野の産学連携研究と教育システム」と題して、これからの事業展開の仕方として、医療の現場に会ったニーズを考えることや実際に現場に出向き、そこでニーズを把握しないと、いくらよい機器を作ったとしても意味がなくなってしまうことなど。この様な状況から人材の育成が急務であることなど大学での取組みを紹介していただきました。

最後に高荒副理事長から「ふくしまヘルスケア産業プラットフォームの設立と今後の展開」と題して、ヘルスケアの重要性が昨今話題となっている中で、事業化しビジネスとして成り立つ事の困難な事など体験談を踏まえながら具体的に解説していただきました。



酒谷薫教授 挨拶



北嶋氏 講演



八木氏 講演



高荒氏 講演



## 平成27年度 イノベーションテクノロジーフォーラム

当フォーラムは、(公財)郡山地域テクノポリス推進機構と日本大学工学部工学研究所との共同で主催するフォーラムです。震災後のふくしまを牽引する「新しい産業の創出」や「テクノポリス圏域を中心とした企業の技術力向上」を目指し、「国内外の最新技術」や「国内外のトレンド」等、圏域企業に有益な最新情報の提供を行い、圏域企業の新製品・新技術開発を促進させることを目的としております。

主催 (公財)郡山地域テクノポリス推進機構 / 日本大学工学部 工学研究所

### イノベーションテクノロジーフォーラム

期日:平成28年3月17日(木) 場所:郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター 会議室 参加:19名

コーディネータ	日本大学工学部 工学研究所次長・機械工学科 教授 柿崎 隆夫 氏
	日本大学工学部 電気電子工学科 教授 渡部 仁貴 氏
プレゼンテーション (発表者)	日本大学工学部 電気電子工学科 准教授 高梨 宏之 氏
	日本大学工学部 生命応用化学科 教授 加藤 隆二 氏
	日本大学工学部 情報工学科 准教授 中村 和樹 氏
	日本大学工学部 機械工学科 助教 遠藤 央 氏



開催風景

「ボードメンバー企業」「インキュベーションセンター入居者」「金融機関」の方々を対象に、当フォーラムのサブコーディネーターであります日本大学工学部の各先生方から、「研究内容」や「地域企業の産業・事業へ貢献できると考える分野」等について、発表いただきました。

その後、「サブコーディネーターの先生方」と「企業の皆様」で意見交換を行い、「当フォーラムの進め方」や「今後の共同研究の可能性」等について、議論いただきました。



プレゼン①



プレゼン②

## 第16回 産・学・官連携フォーラム

開催日 平成27年11月25日(水)

場所 日本大学工学部50周年記念館(ハットNE)大講堂

参加 150名

主催 日本大学工学部工学研究所

公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

『健全で持続可能なふくしまの実現を目指して一新設された3つのフォーラムの役割と連携』をメインテーマに、各フォーラムの概要説明、話題提供及びパネルディスカッションを行いました。

フォーラムの概要説明では、「イノベーションテクノロジーフォーラム」を柿崎隆夫教授が、「健康医療福祉産業創生フォーラム」を酒谷薫教授が、「サステナブル地域づくりフォーラム」を岩城一郎教授がそれぞれ掲げるテーマや進捗状況などを説明いただきました。

また、話題提供では、各フォーラムの話題を産・官を代表して、東成エレクトロビーム株式会社 会長 上野保氏、株式会社資生堂リサーチセンター シニアサイエンティスト 谷田正弘氏、三菱商事復興支援財団 事業推進チームリーダー 中川剛之氏をお招きし、それぞれ説明いただきました。

引き続き、日本大学工学部柿崎隆夫教授を座長に、酒谷薫教授、岩城一郎教授と前記の3人の講師がパネルディスカッションし、フォーラム参加者と意見を交わしました。



フォーラムの概要説明	各フォーラムの産・官を代表して話題提供	パネルディスカッション
<p><b>1 イノベーションテクノロジーフォーラム</b></p> <p>講師: 日本大学工学部 機械工学科 教授 柿崎隆夫 氏</p>  <p>フォーラム会場内の様子</p>	<p><b>1 イノベーションテクノロジーフォーラム</b></p> <p>講師: 東成エレクトロビーム株式会社 会長 上野保 氏</p>  <p>話題提供</p>	<p>テーマ 「フォーラムとそのミッション」</p> <p><b>座長</b> ・日本大学工学部機械工学科 教授 柿崎隆夫 氏</p> <p><b>パネリスト</b> ・左記話題提供者5名</p> 
<p><b>2 健康医療福祉産業創生フォーラム</b></p> <p>講師: 日本大学工学部 電気電子工学科 教授 酒谷薫 氏</p>	<p><b>2 健康医療福祉産業創生フォーラム</b></p> <p>講師: 株式会社資生堂リサーチセンター シニアサイエンティスト 谷川正弘 氏</p>	
<p><b>3 サステナブル地域づくりフォーラム</b></p> <p>講師: 日本大学工学部土木工学科 教授 岩城一郎 氏</p>	<p><b>3 サステナブル地域づくりフォーラム</b></p> <p>講師: 三菱商事復興支援財団 事業推進チームリーダー 中川剛之 氏</p>	

## 研究開発プロジェクト

**【応募テーマ】再生可能エネルギー利用次世代型農業施設開発**  
**【計画名】農業施設用ハイブリッド再生エネルギー利用システムの実用化事業実施主体**

申請者：公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構

連携先：株式会社内藤工業所、株式会社リノーム

エスケー電子工業株式会社、株式会社ススキ製作所

技術支援：日本大学

事業支援体 福島県商工労働部産業創出課

事業期間 平成25年度～平成27年度

実施期間 平成27年4月1日～平成28年2月29日  
 (平成27年度)

施設の建設場所 岩瀬牧場内(福島県岩瀬郡鏡石町桜町225)

### 福島県再生可能エネルギー一次世代技術開発事業概要

福島県は、復興計画の柱に再生可能エネルギーの推進を掲げ、「ふくしまから、はじめよう。」のスローガンの下、新たに県内企業などによる次世代技術開発を支援すること等により、日本、さらには世界を先導する「福島発」の再生可能エネルギー技術の産業創出を目指すものです。

平成27年度は、3年間のとりまとめとして日本大学が取り組んでいる浅部地中熱を活用した農業施設実証実験を地元企業と連携して完了することが出来た。これにより温熱特性の優れたハイブリッド温室に浅部地中熱の技術を組み入れ、温室内の加温・冷却に従来技術より効果があることが実証できました。この実証実験をもとにハイブリッド温室の設計指針を作成し、また、連携企業及び日本大学の実施結果を取りまとめの上、成果報告書を作成し事業を完了しました。

#### 平成27年

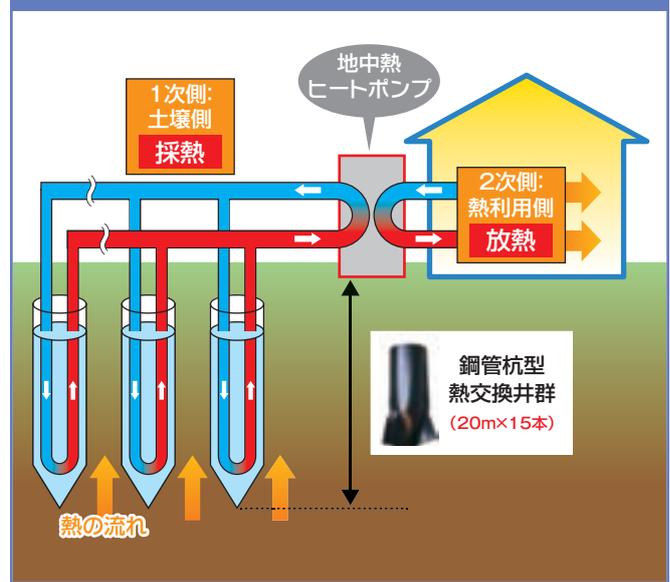
- 5月：ハイブリッド温室の設計の指針作成体制案を検討。
- 6月：夏期の局所冷却実験計画を決定。  
ハイブリッド温室の設計の指針作成の体制を決定。
- 8月：ハイブリッド温室内に局所加温・冷却施設の工事を完了。
- 9月：一般温室への浅部地中熱導入移設工事を実施。  
また、中間成果報告会を実施(県、助言者、オブザーバー、連携事業社等合計25名)。
- 10月：福島県と最終年度のまとめ方を協議。
- 11月：ハイブリッド温室を全閉し、高設ベッドによる小松菜栽培根域冷却実験を実施。
- 12月：浅部地中熱によるハイブリッド温室と一般温室の加温比較実験を実施。また、ハイブリッド温室内での温熱特性の効果の確認実験を実施。  
この実験と並行して、温度制御の精度確認実験を実施。

#### 平成28年

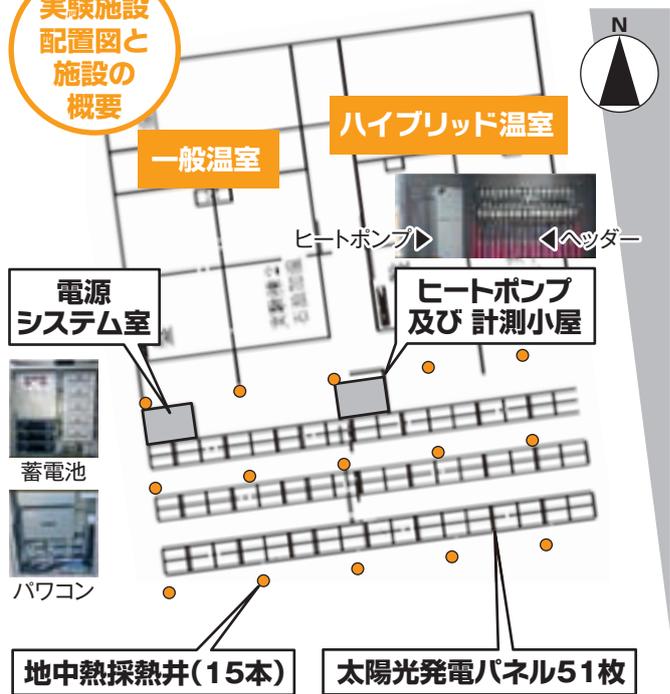
- 1月：ハイブリッド温室高設ベッドで根域を暖房したバジルの実験栽培を実施(2月まで継続)。
- 2月：ハイブリッド温室の設計の指針を策定し、全体のまとめである成果報告書を県へ提出。

平成28年度は、成果報告会、実験施設の視察受け入れを行い、浅部地中熱の普及と事業化について連携企業と検討をする。

### 地中熱システム構成図



### 実験施設配置図と施設の概要



ハイブリッド温室での根域冷却をした小松菜実験



ハイブリッド温室での根域を暖房したバジル実験



一般温室でのトマト実験

## Meister's College 2015 (マイスターズ・カレッジ2015)

人材育成事業

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構では、ものづくり中小企業の中核となる技術者の方々を対象に、日本大学工学部・福島県立テクノアカデミー郡山等との産学連携により、基盤的製造技術の高度化を図る人材育成事業として、平成18年度から継続開催している「Meister's College(マイスターズ・カレッジ)」を実施しました。

今年度は、ものづくり製造技術等に関する多様なイノベーション技術・知識の習得、大学の持つ革新的な研究分野の紹介・技術シーズの提供などを目的とした『イノベーションマスターコース』、マシニングセンタのプログラミングや加工技術を習得する『マシニングセンタコース』の2コースを設け実施しました。



開講式(両コース合同開催)

	イノベーションマスターコース	マシニングセンタコース
受講対象者	製造業企業の技術者等	製造業企業の技術者等
受講者数	16名	12名
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくり製造技術等に関する多様なイノベーション技術、知識の習得</li> <li>大学の持つ革新的な研究分野の紹介、技術シーズの提供等</li> <li>座学と実技が密接にリンクした実践的な研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マシニングセンタのプログラミング及び加工技術等の習得(使用するマシニングセンタは、(株)森精機製作所製)</li> <li>マシニングセンタに係るプログラム(3Dプリンタを用いた試作とCAMによるプログラミング)</li> <li>マシニングセンタに係る工具(刃物)の知識</li> </ul>
構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆開講式及び基調講演</li> <li>◆座学研修 4.5時間(1.5時間×3回)</li> <li>◆実技研修 18時間(2.0時間×9回)</li> <li>◆視察研修会</li> <li>◆閉講式及び交流会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆開講式及び基調講演</li> <li>◆3次元CAD/CAM □ プログラミング …… 18時間(3時間×6回) □ マシニング操作 …… 2時間(2時間×1回)</li> <li>◆工具(刃物)の知識 4時間(2時間×2回)</li> <li>◆視察研修会 ◆閉講式及び交流会</li> </ul>
研修期間	平成27年10月5日～11月26日 毎週火曜日・木曜日 午後6時30分～	平成27年10月5日～11月26日 毎週水曜日・金曜日 午後6時～
研修場所	郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター 日本大学工学部	郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター 福島県立テクノアカデミー郡山
講師	日本大学工学部担当教員 3名	福島県立テクノアカデミー郡山教務員 2名/民間企業 3名

### イノベーションマスターコース

『イノベーションマスターコース』は、日本大学工学部の担当教員を講師に迎え、期間中の延べ15日間にわたり『データ処理講座』『ロボット講座』『住宅設計講座』の3つのテーマについて、基礎から専門的分野までの多様な知識と要素技術の研修を行いました。

『データ処理講座』では、プログラミングの経験の無い方でも、グラフィカル開発システム「Lab VIEW」を用いて、周波数の解析、音声の解析などブロックダイアグラムを生成することにより、基本的なデータ解析処理が出来ることを学びました。また、各受講者のアシスタントとして学生さんにサポートしていただき、楽しく、スムーズな講座運営をすることができました。

『ロボット講座』では、ロボット技術における機械制御について学びました。ロボットの処理系(計測→運動生成→動作→計測)や動作制御の種類について分かり易く説明していただきました。また、実習の最終日には、今まで学んだ制御方法(プログラム作成)を使ってロボットを動かすため、受講生が「ビューローバーARM」のキットの組み立てを行い、プログラム通りの動作確認の実験を楽しみながら行いました。

今回初となる『住宅設計講座』では、建物の室内環境を暖房・冷房設備に頼らず建築的な方法によって快適な室内環境をつくることをパッシブデザインと言い、基礎知識や設計方法を学び、実際に熱負荷シミュレーションソフトを利用して計測を行いました。

①データ処理講座	座学	実習	②ロボット講座	座学	実習	③住宅設計講座	座学	実習
やさしく理解する科学計測のためのデータ処理 Lab VIEWを用いた実践的データ処理			ロボット工学を応用した機械制御に関する技術			熱負荷シミュレーションを利用した住宅設計の方法		
電気電子工学科 生体生理工学研究室 村山 嘉延 氏			機械工学科 サステナブルシステムデザイン研究室 遠藤 央 氏			創成学研究室 宮岡 大 氏		



データ処理講座



ロボット講座



住宅設計講座

## マシニングセンタコース ～3DプリントにおけるCADデータの作成とCAM/MCによる実加工～

「マシニングセンタコース」は、福島県立テクノアカデミー郡山の先生方と民間企業の方々に講師を迎え、期間中の延べ13日間(開講式、視察研修、閉講式含む)にわたり、研修を行いました。

まず、18時間(6日間)のカリキュラムにて、マシニングセンタに関する三次元CAD/CAMについて説明を受けた後、実際にソフトウェアを使ってプログラミングを行いました。

その後、受講生を2グループに分けた少数精鋭により先に組

んだプログラムを基に、2時間の実機操作を体験しました。

最後に、民間企業の方々に講師に招き、マシニングセンタで使用する工具(刃物)の使用方法や段取り操作改善の手法などについて、実習を交えて学習しました。

受講者アンケートでは、「三次元CAD/CAMのプログラムの基礎が理解できた。」「工具や金型の知識を習得できて良かった。」などの声が寄せられました。

### ① 3Dプリンタを用いた試作とCAMによるプログラミング

CAD&3Dプリンタ  
CAM&3Dプリンタ  
マシニング操作

福島県立テクノアカデミー郡山  
精密機械工学科  
教務主任 渡邊 真義  
副教務主任 成瀬 哲也

### ① 工具(刃物)の知識

工具(刃物)の知識① 京セラ株式会社

工具(刃物)の知識② 三菱マテリアル株式会社



マシニングセンタコース(プログラミング)



マシニングセンタコース(実機操作)



マシニングセンタコース(工具刃物の知識)



講座による成果品

## 視察研修会・閉講式・交流会「イノベーションマスターコース」「マシニングセンタコース」と合同で実施



閉講式終了後の集合写真



視察研修会(産総研福島再生可能エネルギー研究所)



視察研修会(福島県ハイテクプラザ)



閉講式



交流会

## ちびっ子マイスターズ・カレッジ “偏光現象を利用した不思議な万華鏡作り”

開催日 平成27年7月25日(土)

場所 日本大学工学部 70号館

参加 38組 67名

主催 (公財)郡山地域テクノポリス推進機構/日本大学工学部

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構では、日本大学工学部と連携し、小学生を対象に「ものづくり」への理解を深めることを目的とした子ども向け事業「ちびっ子マイスターズ・カレッジ」を開催しています。

今回は、小学生の夏休みを利用した親子参加型の体験教室で、講師に日本大学工学部生命応用化学科 加藤 隆二 教授をお迎えし、「偏光現象」について、「スライド」を用いた人間以外の生物のものの見え方」や「偏光紙を用いた実験」など、小学生にも分かりやすい内容で講義を行っていただきました。

講義に引き続き、日本大学大学院工学研究科の大学院生と日本大学工学部の学部生のサポートを受け、親子で「偏光現象を利用した不思議な万華鏡」作りを行い、子供達は様々な光の見え方に興味を持ち、大変驚いていました。

昼食は、日本大学工学部敷地内にある情報研究棟8階のスカイレストランで、郡山市内中心部を一望しながら、大学生気分を満

喫しました。工作終了後、加藤教授から総評をいただくとともに子供たちへ一人ずつ修了証書を渡し、最後に参加者全員で記念撮影を行いました。子供たちにとっては、忘れられない夏休みの思い出ができた様子でした。

当財団では、今後も、小学生向けの企画を実施する予定です。



記念撮影



出村学部長挨拶



加藤教授による講義



工作風景



万華鏡

## 郡山地域テクノポリス ものづくりインキュベーションセンターの紹介



建物  
外観

当財団では、国、福島県、郡山市、日本大学工学部の助成を受け、平成18年8月に「郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター」を日本大学工学部キャンパス内に建設し、その管理・運営を行っています。

同センターは、ものづくりによる新たな産業の創出を促進するための支援施設で、企業支援室のほか、研究開発による試作品を製作するための工作機械を備えた試作センターや40人収容可能な会議室を併設しています。

### 支援メニュー

研究開発による新製品の創出と起業化・事業化の成功確率を高めるため、研究開発の指導者がいる大学の敷地内に、試作品を設計・製作する《場》、試作のための基本的な《設備》、経営・技術両面で支援する《人材》、そして、研究開発成果を広く発表する《機会》を提供します。



起業支援室(実験室タイプ)



起業支援室(事務室タイプ)



試作センター



成果品展示コーナー

**場** 日本大学工学部キャンパス内に新製品の研究開発拠点として、低廉な料金で入居可能な**起業支援室**(11室)を提供。(24時間365日利用可)

**設備** 試作品の製作に必要な各種工作機械を備えた**試作センター**を併設。(高精度立体加工用マシニングセンター等を設置)

- 人材**
- **インキュベーションマネージャー**による経営・技術両面でのアドバイスや各分野の専門家・支援機関などの紹介。
  - **技術コーディネーター**による研究開発・起業化の助成支援、各分野の研究会開催、大学・公設試験研究機関等の研究者との連携。郡山テクノポリス圏域企業によるアライアンス(企業連携)形成への参加など。

**機会** 入居者の研究開発成果を金融機関やマスコミ等に広く周知し、起業化・事業化を支援するための**成果発表会の開催**や**展示コーナー**への成果品展示などの機会を提供。

**展示コーナーのご案内** 当施設1階にある「展示コーナー」に、卒業企業等の研究成果を展示してありますので、ぜひご覧ください。

<b>医療針状把持鉗子</b> (株)ニチオン(卒業企業)
<b>睡眠センサー</b> (株)テレジャパン
<b>かため太郎</b> 〈一液湿気硬化型エポキシ樹脂系簡易補修材〉 オバナヤ・セメントテックス(株)(卒業企業)
<b>メカピューティー</b> 〈メカプ(和布無)サブリメントの錠剤化〉 (株)メティファム(卒業企業)
<b>生キャラメル</b> (株)向山製作所(卒業企業)
<b>乳がんチェッカー</b> (株)タウザー研究所(卒業企業)
<b>聴覚感度ヘッドホン</b> (株)タウザー研究所(卒業企業)
<b>バスケットワイヤーカーテール</b> (株)ウィルファイン(卒業企業)
<b>最小侵襲手術用鉗子</b> (株)フツコ(卒業企業)
<b>ハニリアル材二段ベット(強化段ボール材)</b> <b>個人用ダンボール防音室「だんぼっち」</b> 神田産業(株)(卒業企業)

### 入居者紹介

入居企業名	業種等	本社	入居日	主な研究開発テーマ	会社PR
<b>エコポンド環境工学 リサーチ株式会社</b>	放射能除染業 (除染技術の高度化 研究開発・施工)	郡山市	平成24年 9月3日 平成26年 3月14日	①「イーコン・ポリオン工法」による水 処理技術の開発と高度化事業 ②湖沼・溜池放射能汚染底土の回収装置開発等	除染技術の高度化に取り組み、新しい 開発技術を持って更に貢献したいと思 います。
<b>福島再生可能 エネルギー株式会社</b>	環境・エネルギー 関連技術開発業	郡山市	平成26年 5月21日	①半炭化装置の開発 ②マイクロ水力発電・太陽光発電の 開発	再生可能エネルギーと地球環境にや さしい技術で低炭素社会と資源循環 の実現を目指しています。
<b>株式会社あおい</b>	総合建設業(土木)	須賀川市	平成26年 4月1日	地下水を利用した融雪舗装技術の 研究・開発	地下水を利用した融雪舗装技術及び 空調技術を研究・開発しています。
<b>株式会社 アグリクラスター</b>	熱エネルギー設計 コンサルタント業	さいたま市	平成27年 9月1日	効率的未利用熱エネルギーの調達 方法についての設計ガイドラインの 確立	地中熱など未利用の熱エネルギーを 有効活用するシステムを開発設計して います。
<b>株式会社 マイステック</b>	医療機器製造販売業	郡山市	平成28年 7月1日予定	脊椎手術用開創器システムの開発・ 製品化	Made in Japanによる手術器械の開 発とブランド化を目指しています。
<b>株式会社 テレジャパン</b>	情報通信業	郡山市	平成24年 9月10日	メッシュセンサーネットワークの研究 開発	インターネットには繋がっていない、IP 網での情報伝達サービス提供に努め ています。
<b>バサルトアウス 株式会社</b>	製造販売業 (バサルト連続繊維)	郡山市	平成27年 6月1日	バサルト(玄武岩)繊維補強コンク リートの研究	バサルト繊維の特性を活かした良質の 製品を作り出し、規格化を目指します。
<b>水野 睦夫</b>	建設業 (建設資材の販売と 施工)	郡山市	平成27年 4月1日	コンクリート等のカビ・バクテリア繁 殖防止、劣化防止剤の開発	今までに無い抗菌剤による石質改質 剤の研究・開発・販売に取り組んでい ます。
<b>SAISEI合同会社</b>	製造・サービス業 (バイオマスによるメ タン分析装置の開発)	郡山市	平成27年 6月2日	メタン分解装置の商品化に向けての 開発	バイオマス等自然エネルギー源の開 発に関する分散型電源システムのプロ デュース及び販売を目指しています。

## 入居者成果発表会を開催

開催日 平成27年11月30日(月) 13:00~17:00

場所 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

参加 約70名

主催 (公財)郡山地域テクノポリス推進機構  
 成果発表企業 入居者によるプレゼンテーション  
 入居者による研究成果紹介

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構では、「郡山地域ものづくりインキュベーションセンター」入居者の研究成果を広く周知するとともに起業化・事業化を支援するため、「入居者成果発表会」を開催し、入居中の9者が約15分間のプレゼンテーションを行い、それぞれの研究成果、技術の特長・有効性などを発表しました。

プレゼンテーション終了後、各入居者の展示ブースで、パネルや開発製品等を用いて研究成果を来場者に説明し、来場者は入居者の研究成果に理解を深めていました。各ブースには金融機関の方々も多く訪れ、「販路開拓」「ビジネスマッチング」に向けた商談が積極的に進められました。

各展示ブースでの研究成果紹介後、来場者と入居者の皆様による交流会を実施し、研究成果に関する情報交換や入居者同士の交流を図りました。

当財団では今後とも、積極的に入居者を支援して参ります。



来賓挨拶(日本大学工学部 柿崎教授)



プレゼンテーション①



プレゼンテーション②



研究成果紹介①



研究成果紹介②



交流会

## NUBIC(日本大学産官学連携知財センター) 郡山サテライトの開設

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構と日本大学の連携により、郡山地域における知的財産・産学官連携活動を活性化し、日本大学及び企業間の共同研究、技術移転等を通じて地域産業の発展・推進に寄与するため、「郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター」内にNUBIC郡山サテライトを平成19年7月から開設し、地域企業の皆様の技術開発等に係る相談に応じしています。

(平成27年度実績)

- 産学連携相談件数……25件
- 受託・共同研究契約等…7件



サテライト技術相談

平成28年度 相談予定日

5月25日(水)

6月22日(水)

7月20日(水)

8月24日(水)

9月21日(水)

10月19日(水)

11月30日(水)

12月21日(水)

1月25日(水)

2月22日(水)

3月22日(水)

また、平成20年度から、当財団とNUBICのコーディネーターが直接企業を訪問し研究シーズを紹介する「出前セミナー in企業」も開催しています。

(平成27年度実績:1件)



出前セミナー in企業

### 主な相談内容

- 日本大学に属する研究者、研究シーズ、知的財産等の紹介、共同研究、技術指導等の斡旋
- 知的財産制度、その運用等に関する情報提供
- 研究開発支援制度、産学連携支援制度等の紹介 など

☆郡山地域をはじめ県内の中小企業・個人等が対象です。☆相談は無料です。

※開設時間:午前10時から午後4時まで。事前申し込みが必要です。

※開設場所及び申込先:郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

※「出前セミナー in企業」を希望される企業については、開催日時等について調整が必要となりますので、事前にご相談ください。

## 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会は、(公財)郡山地域テクノポリス推進機構と連携し、テクノポリス圏域におけるICT化を支援し、高度情報化の推進を図るため、圏域市町村・各種団体・大学や専門学校等の協力を得ながら、さまざまな事業を行っています。平成27年度は以下の事業を実施しました。

### 情報化人材育成・研修事業

#### 1 図解力アップ! ワークショップ

「図」を描くには表現のルールがあり、その「図解表現の基礎」を押さえておけば、プレゼンテーション、またWebサイトや印刷物、アプリケーションなど、どんなデザインにも応用できます。

このワークショップでは実際に図や絵を描きながら、図解表現の基礎から応用までを学びました。



自身のプロフィールを図解で説明する原田教授



図解に取り組む参加者

**開催日** 平成27年7月4日(土) 14:00~18:00

**参加者** 34名

**会場** 郡山市民交流プラザ 大会議室1

**後援** 郡山高度情報化システム研究会

**講師**

公立はこだて未来大学 システム情報科学部  
情報アーキテクチャ学科 教授 **原田 泰氏**

#### 2 サイバー攻撃の最新動向と対策

日本年金機構など、相次ぐ標的型メール攻撃による情報漏洩がニュースになり、情報セキュリティへの関心が高まる中、サイバーセキュリティ分野の専門家によるセミナーを開催しました。IT関連企業以外からも多数参加いただきました。

**開催日** 平成27年7月16日(木) 13:30~15:30

**参加者** 44名

**会場** 郡山商工会議所 6階 中ホール

**後援** 郡山商工会議所/郡山高度情報化システム研究会

**講師** (株)ラック サイバーセキュリティ本部 理事 **長谷川 長一氏**



会場風景

#### 3 HTML5fun「現場で使えるライブラリとJavaScriptの基礎」

各地で開催される勉強会【HTML5fun】を県内初開催。Web制作に必須の知識であるHTML5について、明日から使える知識と技術を身につけるためのセミナーを開催。地元からは、浪江町役場の山田氏が登壇し「浪江町タブレット事業」とそのアプリについて解説いただきました。

**開催日** 平成28年1月31日(日) 13:00~16:30

**会場** 郡山市民交流プラザ 大会議室2

**参加者** 35名

**共催** HTML5fun/エフスタ!!

**後援** ぶくしまICT活用推進協議会/郡山高度情報化システム研究会

**講師**

株式会社KDDIウェブコミュニケーションズ

**阿部 正幸氏**

浪江町役場 復興推進課 情報統計係

**山田 直行氏**

ソフトバンク・テクノロジー(株)

Webフロントエンジニア **関口 浩之氏**



浪江町役場 山田氏による「浪江町タブレット事業」の説明

\*HTML5とは: Webページの記述などに用いるマークアップ(プログラミング)の言語で、現在「5」が最新の仕様。  
\*JavaScriptとは: 主にWebページに組み込まれたプログラムを、ブラウザ上で実行するために用いられるプログラミング言語の一つ。

### ICT高度利用推進事業

#### 1 「みんなで取り組む、オープンデータ」セミナー

主に行政等が保有する公共データを誰もが使えるよう公開する「オープンデータ」の推進により、地域活性化や新ビジネスの創出などイノベーションが期待されています。そこで、オープンデータの活用法、ビジネスへの展開、課題やその解決に向けての講演と、行政・地域団体から事例発表を行いました。

**開催日** 平成27年6月2日(火) 14:00~15:45

**会場** 郡山商工会議所 6階 中ホールB

**参加者** 57名

**共催** 郡山高度情報化システム研究会

**講師** 一般社団法人リンクデータ 代表理事

**下山 紗代子氏**

**登壇者** 特定非営利活動法人まざっせKORIYAMA 理事長 **宮川 雄次氏**

郡山市ソーシャルメディア推進課

**遠藤 威史氏**

特定非営利活動法人まざっせKORIYAMA 副理事長 **次田 喜正氏**

会津若松市情報政策課 主事

**藤井 淳氏**



会場風景

#### 2 Connect 2015 in Koriyama, with UDC ハッカソン①

昨年度に続き2回目となるアプリケーション開発イベント「Connect 2015」では、「ITやオープンデータを活用して地域の課題を解決する」をテーマに、UDC(アーバンデータチャレンジ・コンテスト)への応募を目指すハッカソンを開催。当協議会は、アーバンデータチャレンジの地域拠点の一つとして、東北では一関市、会津若松市とともに採択され、年間を通じて関連セミナーやイベントを開催しました。

この回では、社会人や学生がチームを作り、郡山自然の家において1泊2日の合宿形式でアプリケーションの開発に取り組みました。著名な方々に技術メンターとして協力いただき、またハッカソンの様子は雑誌「Software Design」にも掲載されました。

\*ハッカソンとは: 「ハック(アプリケーション開発)」と「マラソン」とを合わせた造語。元々はプログラマーやデザイナーから成る複数の参加チームが、短時間(数時間~数日)集中的に開発を行い、成果を競うイベントの一種。現在では大手企業、公的機関による主催も増えています。

\*アーバンデータチャレンジとは: オープンデータや地理空間情報を活用し、地域の課題解決を目的としたアプリケーションやサービスなどの作品を募集し、全国規模で行われるコンテスト。主催は一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会と、東京大学空間情報科学研究センター「次世代社会基盤情報」寄附研究部門。

<b>開催日</b>	平成27年8月29日(土)～30日(日)	<b>参加者</b>	47名
<b>会場</b>	福島県郡山自然の家	<b>運営協力</b>	Code for KORIYAMA/エフスタ
<b>後援</b>	郡山市/郡山商工会議所/日本大学工学部/WiZ専門学校 国際情報工科大学校/ふくしまICT利活用推進協議会/(公財)郡山コンベンションビューロー/NPO法人まごっせ KORIYAMA/郡山高度情報化システム研究会/福島民報社/福島民友新聞社		
<b>講師</b>	<b>ファシリテーター</b> :NPO法人 森とIT 理事長	<b>國枝 裕介氏</b>	
	<b>技術メンター</b> : <b>グーグル</b> (株) シニアエンジニアリングマネージャー	<b>及川 卓也氏</b>	
	(株)モバイルファクトリー	<b>津田 麻美子氏/飯沼 遼氏/河野 功氏</b>	



ハッカソン開始前に、参加者と講師全員で



チームごとにアプリのアイデアを練る

### 3 Connect 2015 in Koriyama,with UDC 中間発表会&プレゼンセミナー②

8月末のハッカソン後のアプリケーション開発の進捗と、作品のプレゼンテーションを行う際に役立つテクニックを学ぶ、中間発表会とセミナーを開催しました。プレゼンセミナーの講師は、この分野の第一人者でありエグゼクティブへの講演も多い、日本マイクロソフトの 澤 円(さわ まどか)氏。

<b>開催日</b>	平成27年11月7日(土) 13:00～17:30
<b>会場</b>	郡山商工会議所 5階 5-1会議室
<b>参加者</b>	34名
<b>運営協力</b>	Code for KORIYAMA/エフスタ
<b>講師</b>	国際航業(株) 営業企画部 営業推進グループ担当課長 <b>和田 陽一氏</b> 日本マイクロソフト(株) マイクロソフトテクノロジーセンター長 <b>澤 円氏</b>



自作をプレゼンする学生

澤氏による「もっと伝わる」澤流プレゼンテーション術」

### 4 Connect 2015 in Koriyama,with UDC 最終発表会&審査会③

地域拠点としての作品発表会・審査会を開催しました。

8月のハッカソンで技術メンターを務めていただいたIncrements(株)(元グーグル(株))及川 卓也氏による基調講演「2016年への技術展望とスタートアップの仕事術」の後、各チームによるプレゼンテーション、審査が行われました。

審査の結果、WiZ専門学校 国際情報工科大学校チームによる、消防団の活動支援アプリ「Ponpun(ポンパン)」が優勝。開発にあたり、郡山市消防団や郡山市役所へのヒアリングなど、真摯な取り組みも高評価に繋がりました。



Increments(株) 及川 氏の基調講演

<b>開催日</b>	平成27年12月12日(土) 13:30～17:45	<b>審査員</b>	Increments(株) プロダクトマネージャー 及川 卓也氏 NPO法人 森とIT 理事長 國枝 裕介氏 国際航業(株) 営業企画部 営業推進グループ担当課長 和田 陽一氏 郡山高度情報化システム研究会 大槻 努氏 郡山市政策開発部 ソーシャルメディア推進課長 植木 一雄氏
<b>会場</b>	ホテルハマツ 3階 橘(発表会)		
<b>来賓</b>	郡山市長 品川 萬里氏		
<b>参加チーム</b>	5チーム	<b>参加者</b>	54名
<b>共催</b>	郡山高度情報化システム研究会		
<b>後援</b>	ふくしまICT利活用推進協議会		
<b>運営協力</b>	Code for KORIYAMA/エフスタ		
<b>基調講演</b>	<p>「2016年への技術展望とスタートアップの仕事術」 Increments(株)プロダクトマネージャー <b>及川 卓也氏</b> (元グーグル(株)シニアエンジニアリングマネージャー)</p> <p>◎優勝&lt;郡山市長賞&gt; WiZ Graduate「Ponpun(ポンパン)」 …(WiZ専門学校 国際情報工科大学校の生徒・講師チーム) 水栓マップを利用した消防団を支援するアプリ。火災が起きた際に、各消防団員への連絡方法改善や、ポンプ車などの水栓の近くにあるのかなどを確認でき、迅速な消火作業に入れるように支援。</p> <p>◎2位&lt;郡山高度情報化システム研究会賞&gt; dott(.maploy(マフロイ))…(会津若松市の社会人チーム) 複数の位置情報データを比較し、誰でも簡単に分析を行うことを可能にするサービス。データの重みをヒートマップで表現したり、linkdataやData for citizen、独自フォーマットのCSVなど、データの登録方法も多彩に用意。</p> <p>◎3位&lt;Connect 2015賞&gt; チーム無敵「はず丸～バスルート丸わか～」 …(日本大学工学部・会津大学・WiZ専門学校国際情報工科大学校の学生チーム) 地域に根ざした交通網(コミュニティバスなど)のバス路線検索アプリ。平田村と協力。</p>		
			会場風景
			受賞者と審査員・プレゼンターの皆さん

## ICT交流事業

### 交流事業 Connect 2015 in Koriyama,with UDC 交流会

Connect 2015 in Koriyama, with UDCの最終審査会&発表会開催にあたり、ICT交流プラザ会員の参加を募り、イベント参加者や講師・審査員を交えての表彰式と、交流会を開催しました。

<b>開催日</b>	平成27年12月12日(土) 16:20～17:45
<b>会場</b>	ホテルハマツ 2階 メイフェア
<b>参加者</b>	54名
<b>運営協力</b>	Code for KORIYAMA/エフスタ
<b>共催</b>	郡山高度情報化システム研究会
<b>後援</b>	ふくしまICT利活用推進協議会

#### 各種支援事業(後援:6件)

- 平成27年9月9日(水)  
「販路拡大支援セミナー」…主催:郡山商工会議所
- 平成27年9月19日(土)～20日(日)  
「こおりやま産業博」…主催:こおりやま産業博実行委員会
- 平成27年9月19日(土)～20日(日)  
「ITビジネスセミナー」…主催:郡山商工会議所
- 平成28年1月22日(金)  
「IoTが変える! 日本のものづくりの未来」…主催:郡山商工会議所工業部会・青年部
- 平成28年1月28日(木)  
「地方“創生”を実現する ヒト・モノ・コミュニティのつくりかた」  
…主催:(独法)中小企業基盤整備機構
- 平成28年2月24日(水)  
新春 地域情報化セミナー「コグニティブ(人工知能)システム“WATSON”が日本に与える可能性」  
…主催:郡山高度情報化システム研究会・郡山商工会議所



表彰式を終え、参加者と交流を深める

## アドホック研究会

会員相互の技術、情報などの交流と幅広い研究を通して、新技術、新商品、新事業の開発と新市場の開拓を促進するとともに、生産・販売面での相互協力を促進し、会員企業の成長発展と地域産業の振興に貢献することを目的に活動しています。

会員は郡山地域テクノポリス圏域内(郡山市、須賀川市、三春町、鏡石町、玉川村、石川町)などの企業経営者・役員です。

### アドホック研究会(郡山)

会員数 16名(平成27年度末 現在)

会長 根本 幸二(株)アクア工房 代表取締役社長)

#### 平成27年度 事業内容

##### 4月定期総会

5月例会 講演 演題:「産業人材の育成に向けた  
福島県立テクノアカデミー郡山の取組み」  
講師:福島県立テクノアカデミー郡山  
校長 喜古 克広 氏

6月例会 7月以降の例会テーマの検討、情報交換会

7月例会 8月以降の例会テーマの検討、情報交換会

##### 8月例会 視察研修

- ・ふくしま医療機器開発支援センター(建設現場)
- ・(一財)脳神経疾患研究所 南東北BNCT研究センター

講演 演題:「福島県医療産業集積プロジェクトについて」  
講師:福島県商工労働部 医療関連産業集積推進室  
室長 大越 正弘 氏

9月例会 10月以降の例会テーマの検討、情報交換会

10月例会 11月以降の例会テーマの検討、情報交換会

##### 11月例会 視察研修

- ・日産自動車株式会社いわき工場

12月例会 講演 演題:「地方創生に向けた医療機関の  
中心市街地集積によるまちづくり」  
講師:(一財)とうほう地域総合研究所  
研究員 和田 賢一 氏

1月例会 2月以降の例会テーマの検討、情報交換会

2月例会 3月例会及び総会について、情報交換会  
・新会員紹介(株)香設計、(株)中央特殊印刷)

3月例会 次年度事業計画等の検討、情報交換会



8月例会 視察研修  
(ふくしま医療機器開発支援センター  
建設現場にて)



8月例会 視察研修  
(南東北BNCT研究センターにて)



11月例会 視察研修  
(日産いわき工場にて)



12月例会 講演  
(とうほう地域総合研究所 和田研究員)

### 須賀川方部アドホック研究会

会員数 26名(平成27年度末 現在)

会長 栗原敏郎(紅食(株) 代表取締役)

#### 平成27年度 事業内容

##### 4月定期総会

5月例会 平成27年度事業計画(月別テーマ)の検討

6月例会 テーブルスピーチ テーマ:職場における熱中症対策  
講師:(株)大塚製薬仙台支店郡山出張所 野崎石松 氏

##### 7月例会 企業視察:(株)日向精工

テーブルスピーチ テーマ:工科大学と取り巻く環境  
講師:千葉工業大学工学部 教授 西田保幸 氏

##### 8月例会 企業視察:(有)城精工

9月例会 視察研修(宮城県) ・株式会社GRA  
・東北電力火力発電所 太陽光発電所

##### 10月例会 海外視察(ミャンマー) ・JETRO・ヤンゴン

- ・ハニーズミャンマー第2工場
- ・王子HDミャンマー工場

##### 11月例会 視察研修(白河市) ・三宝製菓株式会社

- ・株式会社しらかわ五葉倶楽部

テーブルスピーチ 講師:須賀川商工会議所 前会頭 長谷部一雄 氏

##### 12月例会 三春異業種交流会との交流:三春工業株式会社の見学及び交流会

1月例会 テクノポリス新春講演会への参加

2月例会 須賀川市企業間ネットワークセミナー2016への参加

##### 第1部「講演会」

テーマ:福島県における産業技術総合研究所と地元企業との連携について  
講師:国立研究開発法人産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所  
上席インベリションコーディネータ 近藤道雄 氏

テーマ:福島初・地域新電力実施の課題と対策

講師:須賀川瓦斯株式会社 取締役副社長 橋本直子

##### 第2部「交流会」

3月例会 次年度事業計画策定意見交換会



定期総会



7月例会 会員企業視察(日向精工)



9月例会 視察研修(株式会社GRA)



11月例会 会員企業視察  
(三宝製菓福島工場)

## 平成28年 テクノポリス新春講演会

「元気経営のヒミツはこれだ! 中小企業・製造業取材現場から」

開催日 平成28年1月18日(月)

場所 郡山商工会議所 6階中ホール

参加 約80名

主催 (公財)郡山地域テクノポリス推進機構

共催 郡山地域テクノポリス市町村協議会/郡山地域テクノポリス推進協議会

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

今年の講演会は 有限会社産業情報化新聞社 代表取締役「日本一明るい経済新聞」編集長の竹原 信夫 氏を講師に迎え、「元気経営のヒミツはこれだ! 中小企業・製造業取材現場から」と題してお話いただきました。

竹原信夫氏は、元気の秘訣や経営の「ノウハウ」などをはじめ、産業界の話題や新製品の開発など、とにかく明るい情報を掲載した月刊誌「日本一明るい経済新聞」を発行しております。

講演では、年間500人の中小企業の経営者を取材し、多くの中小企業が商品化に成功した、その開発製品を手にとって紹介しながら、元気経営の秘訣について熱心に説いていました。

その中で、竹原氏は取材で見つけた元気な会社の社長さんの共通点は「あ・い・う・え・お」であると語られ、解説では「あ」は明るい社長(人)「い」は意志を強く成功するまで「う」は運が良い、ついていると思いつくプラス思考の人「え」は縁を大切に人「お」は大きな夢を持っている人であると強調していました。

更に、成功している人は「**なんでやねん**」と言う気持ちが大事で、一つのヒットで満足している事なく、常に「**問題意識**」をもって対応することが成功の秘訣であると力説していました。

当日は、大雪で開催が危ぶまれましたが、地域の中小企業の経営者や幹部の方々等約80名が訪れ、自らの経営の参考にしようと、真剣な表情で聴講されており、大変好評でした。



講師の竹原信夫氏



丹治理事長挨拶



会場風景

### 講師

有限会社産業情報化新聞社 代表取締役

「日本一明るい経済新聞」編集長

竹原信夫氏

### プロフィール

- ・昭和23年10月29日生まれ。大阪府出身
- ・昭和46年3月 関西大学社会学部マスコミ学科卒
- ・同年4月 フジサンケイグループ日本工業新聞入社 その後、大阪で中小企業担当、浜松支局記者など経て、大阪で繊維、鉄鋼、化学、財界、金融などを担当
- ・平成2年4月大阪経済部次長(アスク)
- ・平成9年2月から平成12年10月末まで大阪経済部長
- ・平成13年1月から独立、産業情報化新聞社代表に。年間約500人の中小企業経営者に取材、月刊紙「日本一明るい経済新聞」を発行中。
- ・NHKテレビ「おはよう関西」元気な中小企業コーナーに出演中。

### 講演内容

「経営が厳しい」「何をやっても業績が上向かない」暗い顔してぼやいていても何ら良いことはない。どれほど厳しい経済下であっても、八方ふさがりだと思ってしまう状況下であっても、へこたれずに頑張り続ける多くの経営者を取材。成功社長にはいくつかの共通点があり、豊富な成功事例を交えながら、元気経営の秘訣を説く。

## サイエンスツアー(くらしの工学を学ぼう)

東日本大震災から5年が経過し、震災からの復興・創生を図るべく、郡山地域には平成28年4月に国立研究開発法人 産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所(FREA)に「スマートシステム研究棟」が開所され、平成28年度中には「福島県環境創造センター」や「ふくしま医療機器開発支援センター」が開所されるなど、先進的研究・学術研究機関の集積が急速に進んでおります。

郡山地域には、以前から、日本大学工学部等を始めとする高等教育機関や福島県の工業振興を図る公設試験研究機関である福島県ハイテクプラザのほか、明治政府により整備され、現在の郡山地域(安積開拓)の基礎を築き日本の三大疎水の一つである安積疎水など、郡山地域の近代化を今に伝える産業遺産も数多く点在し、「安積開拓・安積疎水開さく事業」は文化庁より日本遺産に認定されました。

また、郡山地域には医療関連産業等の集積も急速に進んでおり、数多くの優良企業が全国から多数進出しております。

当財団では、これらの資源を貴重な地域資源と捉え、郡山地域の魅力向上に寄与する『サイエンスツアー』を平成26年度から実施しております。

### 平成27年度 開催概要

#### 開催内容

日本大学工学部、郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター等を研修

#### 開催件数

5件(共催5件)



インキュベーションセンターにて



日本大学工学部(次世代工学技術研究センター)にて①



日本大学工学部(次世代工学技術研究センター)にて②

## 各種助成事業

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構では、テクノポリス圏域内企業や企業グループ(産学連携を含む)等の研究開発や起業化の取組みを支援するため、各種助成事業を設けています。

- ①F/S支援事業 ②研究開発助成事業 ③地域技術起業化助成事業 ④債務保証事業 ⑤新技術・新製品市場開拓支援事業

**平成27年度 助成対象企業** 平成27年度の助成事業対象企業は以下のとおりです

### 研究開発助成事業

#### 株式会社テレジャパン 郡山市

#### インターネットを経由しない センサーネットワークの研究開発

事業内容:膨大な電子機器をインターネットに接続することで、セキュリティやIPアドレスなどの課題を生じます。これらを解決するため、NGN\*をベースにセンサーネットワークを構築します。

事業実施期間:平成27年8月1日

～平成28年3月24日

#### NGN

(Next Generation Network:次世代ネットワーク)とはFMCと呼ばれる固定・移動体通信を統合し、トリプルプレイと呼ばれる、電話・データ通信・ストリーミング放送が融合したマルチメディアサービスを実現するインターネットプロトコル技術を利用する次世代電話網。

### 研究開発助成事業

#### 株式会社アイワコーポ 郡山市

#### 浅部地中熱ヒートポンプ用 ファンコイルユニット(FCU)の開発

事業内容:FCUの動作をコントロールするための制御基板を含むユニットの開発及び試作。また、ユニットを既存の空冷エアコンに搭載し、FCUとして製品化するためのアッセンブリ試作を行う。この研究によって、現行の既製品よりも低価格での販売が可能となり、浅部地中熱利用システム全体の低価格化と再生可能エネルギーの活用促進に寄与できることが期待される。

事業実施期間:平成27年8月1日

～平成28年3月10日

### 地域技術起業化助成事業

#### 水野睦夫 郡山市

#### 石質改質剤「リバイバル」の 製造と販路開拓事業

事業内容:石質改質剤「リバイバル」の製造・ボトリング・販売。開業後、施工については技術指導することにより、塗装工事業者、道路施工業者、(土木・ライン・カッター等)、メンテナンス業者等に広く使用してもらおう。

また、アスベスト対策としてJRの関連企業と暴露試験中であるので、その効果により「NEW環境展2016」などに出席して広くPRし、販路拡大を目指す。

事業実施期間:平成28年3月1日

～平成29年2月28日(予定)

## 産総研福島再生可能エネルギー研究所(FREA)に「スマートシステム研究棟」が完成

平成28年4月、福島県郡山市の産総研福島再生可能エネルギー研究所に、メガワット級の大型パワーコンディショナなどを世界のさまざまな電力系統や気象条件の下で試験・評価できる施設、「スマートシステム研究棟」を開所いたしました。

太陽光発電や風力発電などを大量に導入するためには、これら変動する分散電源をエネルギー貯蔵システムなどとスマートに(賢く)組み合わせることが求められています。

先進的な分散電源や大型パワーコンディショナ等の研究開発等支援します。



スマートシステム研究棟  
国立研究開発法人産業技術総合研究所(産総研)提供

### FREAの研究テーマ

～再生可能エネルギーの  
大量導入に向けて～

- ①導入制約解消のためのシステム技術開発
- ②一層のコスト低減と性能向上
- ③適正な技術普及のためのデータベース構築、提供

## 福島県環境創造センター グランドオープンのお知らせ



福島県環境創造センターは、平成28年7月にグランドオープンいたします。21日(木)にオープニングセレモニーを行い、23日(土)、24日(日)には記念イベントを実施します。福島県の美しく豊かな環境を回復・創造するための総合的な拠点として、より安心して快適に暮らせる「ふくしま」にするための取組を進めてまいります。

### 本館

県内の環境回復・創造の中核施設です。環境放射線のモニタリング・調査研究、環境中の有害物質等の調査分析・研究を行います。

### 研究棟

日本原子力研究開発機構(JAEA)と国立環境研究所が入居し、除染や廃棄物処理についての調査・研究を行います。

### 交流棟

愛称「コミュタン福島」

福島子どもたちが安心して輝く未来を創造するための施設です。展示室や体験研修スペース、キッズコーナーを設けています。

### 福島県環境創造センターが 担う4つの機能

- ①モニタリング
- ②調査研究
- ③情報収集・発信
- ④教育・研修・交流

◎会議室等の貸し出しも行っております

(※詳細については、お問い合わせください。)

- 【主な設備】
- ・ホール(約200名の収容が可能)
  - ・会議室(約100名まで収容が可能)
  - ・多目的会議室(約100名まで収容が可能)

所在地:福島県田村郡三春町深作10番2号

連絡先: TEL.0247-61-6128

FAX.0247-61-6119



## 第10回 江原医療機器展示会 GMES2015(韓国)

**開催日** 平成27年 9月8日(火)・9日(水) **主 管** (財)原州医療機器テクノバレー  
**場 所** 原州医療機器総合支援センター **：** KOTRA:大韓貿易投資振興公社  
**主 催** 江原道 原州市 **：** 韓国産業団地公社



世界120社程のバイヤーも参加する展示会場全景

9月8日・9日に韓国江原道原州市で開催された「第10回 江原医療機器展示会 GMES2015」に郡山地域の医療福祉機器関連企業らが成果品を出品し、技術協議や商談が展開された(参加者 約370名)。

この展示会開催前日の9月7日には、原州の医療機器開発専用工業団地の一つである「東華先端医療機器工業団地」や「企業都市(MediPolis)160万坪」と、2013年9月5日に韓国の医療機器開発のメッカとして竣工したMCC:原州医療機器総合支援センター[(財)原州医療機器テクノバレーの事業推進拠点]と「革新都市(Innovation City)130万坪」及び原州医療機器産業クラスターの3企業[(株)SONIX/(株)ネオドクター/(株)Dae Yang]を視察した。

### 参加企業と出展品

- ①ひさき設計株式会社(携帯型放射線量測定器とリハビリゴール等)
- ②株式会社内藤工業所(医療機器に応用可能なHワイズコイル)
- ③有限会社エスク(循環器外科用ステント類)
- ④日本大学工学部長尾研究室(整形外科用神経伝導計測装置)
- ⑤(公財)郡山地域テクノポリス推進機構(当財団のパネル展示)

## こおりやま産業博 KORİYAMA EXPO 2015

**開催日** 平成27年 9月19日(土)・20日(日) **場 所** ビッグパレットふくしま  
**主 催** こおりやま産業博実行委員会(郡山市・郡山商工会議所・郡山地区商工会広域協議会・郡山市農業協同組合)  
**協 力** 公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構・郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会



開会式様子

昨年まで開催してきた「農業・観光物産展」と「産業フェア～夢あい」を融合し、こおりやま産業博-KORIYAMA EXPO2015-として、初めて開催されました。「ふるさと名物の発見と近未来を体験できる暮らしの博覧会」をテーマに市内外から約190の企業や団体・支援機関等が展示・販売コーナーを設け、多くの来場者で賑わいました。

当機構も、支援機関のエリアにブースを設け、事業説明を行ないました。来場者は、再生可能エネルギー(ハイブリッド温室)関係に興味を示し、隣り合う日本大学工学部のブースとともに、浅部地中熱利用について理解を深めることが出来たと好評でした。



テクノブース状況

### イベント内容

- ・話題の水素自動車 TOYOTAミライ展示
- ・世界初を体験 サイborg型ロボット HAL
- ・溶接の匠デモンストレーション
- ・コマツ 油圧ショベルPC200展示・ドローン展示及びデモ飛行
- ・世界ベンチ・イス創作コンテスト入賞作品展示
- ・姉妹都市(久留米・鳥取・奈良)物産展
- ・デモンストレーション(郡山北工業高校ロボット・郡山商業高校電卓)等々

## ふくしま復興・再生可能エネルギー産業フェア2015

REIFふくしま2015

このフェアは、原子力に依存しない安全・安心な社会を創るため福島県を再生可能エネルギーの先進地とすることを目的に、新たな産業の創出、関連産業の集積・育成や、関連産業でビジネスに取り組みされる企業・団体の皆様に技術・情報の収集、商談・交流の場を提供するものとして開催されました。

当機構も展示ブースを設け、来場者に当機構の取組みを紹介しました。

**開催日** 平成27年10月28日(水)・29日(木)  
**場 所** ビッグパレットふくしま  
**参 加** 6,369名  
**主 催** 福島県、公益財団法人福島県産業振興センター  
**共 催** 復興庁、外務省、文部科学省、農林水産省 等

### イベント内容

#### 【オープニングセミナー】

- 再生可能エネルギー先駆けの地を目指すふくしま  
福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会 会長 服部 靖弘 氏(他4名発表)

#### 【REIF基調講演】

- エネルギーレジリエンスが地域と企業を真に強くする  
東京工業大学ソリューション研究機構 特任教授 金谷 年展 氏

#### 【FREIA「再エネ」セミナー】

- ～福島県の革新的再生可能エネルギー技術を目指して～  
「FREIAの現状と将来展望」

国立研究開発法人 産業技術総合研究所  
福島再生可能エネルギー 研究所長 大和田野 芳郎 氏(他5名発表)

#### 【国際経済交流セミナー「第1部」】

- ベルギー・フランダースにおける再生エネルギーの最新動向  
ベルギー・フランダース政府貿易投資局 日本事務所代表 ティルク・テルイベル 氏(他3名発表)

#### 【REIF特別講演】

- 日本経済の行方と金融市場動向  
信州大学経済学部教授 眞壁 昭夫 氏

#### 【国際経済交流セミナー「第2部」】

- ドイツの「エネルギーヴェンデ(エネルギー転換)」と NRW州における再生可能エネルギーの現状  
エネルギー・エージェンシーNRW 代表フランク・ミヒャエル・パウマン博士 氏(他1名発表)

#### 【出展者交流会・取引商談会】



開会式テアブカット

## メディカルクリエーションふくしま2015

**開催日** 平成27年11月11日(水)・12日(木)  
**場 所** ビッグパレットふくしま  
**参 加** 約4,000名  
**主 催** メディカルクリエーションふくしま実行委員会  
**共 催** (一社)日本医療機器学会  
(公財)医療機器センター

### 特別セミナー内容

#### 【オープニングセミナー】

「ふくしま医療機器開発支援センター」の役割と期待される将来像

#### 【参入促進セミナー】

地方発 医療機器開発の成功のカギとは ～クラスターの強みを生かして～

#### 【最新技術セミナー】

～救急医療・災害医療の現場から～ 今、求められている医療機器とは

#### 【人材育成セミナー】

治療機器などの開発に向けた安全評価と承認・認証の申請

今年で11回目の開催となり、医療機器設計・製造展示会&最新技術セミナー「メディカルクリエーションふくしま2015」が開催されました。『ふくしまで医療機器開発・未来へのReSTART』をテーマに、ビジネスマッチングのための展示商談会に加え、医療福祉用ロボットや救急災害対応医療機器開発の成果などの企画展示、28年度開所予定の「ふくしま医療機器開発支援センター」について紹介する特別展示・セミナーなど多彩なプログラムが実施されました。出展者数も国内外から235企業・団体が出展し、過去最大規模の展示会となりました。

当財団でも、かねてから産業交流を推進している韓国江原道原州市の「(財)原州医療機器テクノバレー」と「原州医療機器産業クラスターの5企業」のブースを設け、日韓の技術交流を図りました。

また、イベントとして各種セミナーが開催されたほか、出展作品については「メディカルクリエーション大賞」ほかを設け、優秀作品が表彰されました。



日韓ブース豊利行副知事来訪

## 平成28年度の主な事業・イベント (公財)郡山地域テクノポリス推進機構

### 周年記念事業の紹介

当財団は、「産業技術基盤の強化に必要な業務を効果的に行うことにより、高度技術に立脚した工業開発を促進し、もって郡山地域テクノポリスの形成、ひいては福島県産業の振興に寄与すること」を目的に設立され、本年度で財団設立30周年、インキュベーションセンター開所10周年を迎えます。

また、郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会は設立20周年と、当財団とともに節目の年となります。

そこで、今年度は既存の事業の見直しを行うとともに、企業ニーズにあった新たな事業を展開します。ここでは、現在予定している主な事業を紹介します。

### 受発注 商談会

12月2日(金)

郡山商工会議所を会場に、郡山地域における「ものづくり企業」の新規取引先の開拓、ビジネスマッチングの機会創出を図るため、「県内外の発注企業」を郡山へ招聘し、郡山地域の受注企業との大規模な商談会を開催します。

### ちびっ子マイスターズ・カレッジ 2016

#### コンクリート探検隊!

【日時】7月23日(土)  
10:00~14:30  
【会場】日本大学工学部 70号館  
【参加費】500円/1人  
(昼食・保険代含む)  
【定員】40組(80名程度)  
【対象】小学生(3~6年)と保護者  
【講師】日本大学工学部土木学科  
コンクリート工学研究室  
教授 岩城一郎  
【主催】(公財)郡山地域テクノポリス推進機構  
日本大学工学部

#### コンピューター動かし隊!

——郡山会場——  
【日時】7月23日(土) 10:00~12:00  
【会場】WIZ専門学校 国際情報工科大学校 2階201教室  
——鏡石会場——  
【日時】7月30日(土) 10:00~12:00  
【会場】鏡石町図書館 会議室  
——須賀川会場——  
【日時】7月31日(日) 10:00~12:00  
【会場】須賀川市産業会館 1階 会議室  
【参加費】2,000円(材料費)  
【定員】各会場 20名  
【対象】小学生(4~6年)(お子様のみの参加となります)  
【主催】お問い合わせ  
郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会  
TEL.024-947-4400

### マイスターズ カレッジ 2016

9月中旬~11月末

人気のイノベーションマスターコース及びマシンングセンターコースに加え、新たにメディカルクリエーションコース(仮)を加え、郡山地域の医療機器のニーズに応えるために企業と連携しながら、カリキュラムを作成しています。

- 【5月】・助成事業第1回公募(4/18~5/31)
- ・第1回 評議員会(5/11)
- ・インキュベーションセンター  
入居者審査委員会(5/13)
- ・アライアンス役員会(5/20)
- ・アライアンス・企業製品発表会  
(プレゼン会)(5/20)
- ・平成27年度決算監査
- 【6月】・第1回 理事会(6/6)
- ・アライアンス総会(6/14)
- ・定時評議員会(6/21)
- ・第2回 理事会(6/21)
- ・郡山地域産業支援機関連絡会議
- 【7月】・第3回サステナブル地域づくり  
フォーラム(7/4)
- ・ちびっ子マイスターズ・カレッジ2016  
(7/23, 30, 31)
- ・第1回健康医療福祉産業創生フォーラム(7/29)
- ・技術等審査委員会(下旬)
- ・第1回イノベーション  
テクノロジーフォーラム
- 【8月】・マイスターズ・カレッジ受講生募集
- ・インキュベーションセンター入居者審査委員会
- ・中学生工場等見学会

- 【9月】・サイエンスツアー
- ・GME S2016
- ・江原医療機器展示会(9/22~23)
- ・マイスターズ・カレッジ2016(9月~11月)
- 【10月】・助成事業第2回公募(10/1~11/30)
- ・郡山産業博(10/7~9)
- ・再生可能エネルギー産業フェア  
2016(10/19~20)
- ・第2回サステナブル地域づくりフォーラム
- 【11月】・ロボットフェスタふくしま(11/19)
- ・メディカルクリエーション  
ふくしま2016(11/25~26)
- ・サイエンスツアー(2回)
- ・第17回産学官連携フォーラム
- ・第2回イノベーション  
テクノロジーフォーラム
- 【12月】・第2回健康医療福祉産業創生フォーラム
- ・アライアンス全体会
- ・サイエンスツアー
- 【1月】・平成29年テクノポリス新春講演会
- ・技術等審査委員会
- 【2月】・インキュベーションセンター入居者成果発表会
- ・インキュベーションセンター入居者審査委員会
- 【3月】・第3回 理事会

### 郡山地域 ニューメディア・コミュニティ 事業推進協議会 平成28年度の 主な行事・イベント

- 【4月】・監査会(4/20)
- ・総会(4/26)
- 【5月】・ボードメンバー会議(5/17)
- 【6月】・Connect 2016 アイデアソン
- 【7月】・ちびっ子マイスターズ・カレッジ2016  
郡山(7/23)
- 鏡石(7/30)
- 須賀川(7/31)
- 【8月】・テレワークに関するセミナー
- ・情報セキュリティセミナー
- 【9月】・オープンデータセミナー
- ・ビジネス交流会
- ・ボードメンバー会議
- 【10月】・IoTに関するセミナー
- 【11月】・Connect 2016 ハッカソン
- 【12月】・業務改善セミナー
- 【2月】・ボードメンバー会議

# 平成27年度 理事会等の開催報告

平成27年度 郡山地域ニューメディア・コミュニティ  
事業推進協議会総会・運営委員会の開催報告

## (公財)郡山地域テクノポリス推進機構

平成27年4月1日～平成28年3月31日

### 理事会

- 第1回** ○日時 平成27年6月4日(木)  
○場所 インキュベーションセンター  
○内容 平成26年度事業報告及び決算 ほか
- 第2回** ○日時 平成27年7月10日(金)  
○場所 決議の省略の方法による開催  
○内容 補充理事選任のための評議員招集
- 第3回** ○日時 平成27年12月16日(水)  
○場所 インキュベーションセンター  
○内容 平成27年度補正予算  
利益相反取引に係る承認及び報告  
資金運用管理規程一部改正  
平成27年度事業計画及び当初予算  
個人番号及び特定個人情報に関する基本規程 ほか
- 第4回** ○日時 平成28年3月22日(火)  
○場所 ビッグパレットふくしま  
○内容 平成27年度補正予算  
平成28年度事業計画及び当初予算  
平成27年度減価償却当資産への積立限度額  
事務局長任免の承認 ほか

### 監査会

- 日時 平成27年5月28日(木)  
○場所 ビッグパレットふくしま  
○内容 平成26年度事業及び決算

### 評議員会

- 第1回** ○日時 平成27年5月14日(木)  
○場所 決議の省略の方法による開催  
○内容 補充評議員3名の選任  
一時借入れに伴う借入限度額の設定 ほか
- 第2回** ○日時 平成27年6月23日(火)  
(定時) ○場所 インキュベーションセンター  
○内容 平成26年度事業報告及び決算  
平成27年度事業計画及び収支予算
- 第3回** ○日時 平成27年7月23日(木)  
○場所 決議の省略の方法による開催  
○内容 補充理事1名の選任

### 監査

- 日時 平成27年4月16日(木)  
○場所 (公財)郡山地域テクノポリス  
推進機構 会議室  
○内容 ・平成26年度 事業及び決算

### 協議会総会

- 日時 平成27年4月24日(金)  
○場所 ビッグパレットふくしま 4階  
プレゼンテーションルーム  
○内容 ・委員の選任・役員の選出  
・平成26年度事業報告  
及び決算について  
・会則の一部変更について  
・平成27年度事業計画(案)  
及び予算(案)について

### 運営委員会

- 日時 平成27年5月13日(水)  
○場所 郡山地域テクノポリス  
ものづくりインキュベーション  
センター 会議室  
○内容 ・総会報告  
・会則の一部変更について  
・平成26年度事業報告  
及び決算について  
・平成27年度事業計画(案)  
及び予算(案)について

COLUMN  
コラム

## 技術コーディネーターから

平成28年度から、それまでの技術コーディネーター5名に、新たな1名を加えて計6名となりました。改めて6名の技術コーディネーターについて本コラムで紹介いたします。

インキュベーションマネージャー 兼 技術コーディネーター  
佐藤 彰



【専門分野】

- ①ものづくり技術・経営のインキュベーター及び産学官コーディネーター
- ②政府開発援助コンサルタント  
(医療施設/ワクチンプラント・システム、社会インフラ整備)
- ③医用工学(流体力学/体外循環技術)

【プロフィール】

- ・2006年 国際協力機構 開発コンサルタント(保健医療分野)

【自己PR】

地域社会の発展にどう寄与できるか共に熟考しながら、ビジネスインキュベーションというミッションに、産業界、学術機関、産業支援機関等のご協力を仰ぎ連携を密にして、地域の復興と産業振興の一助となるよう日々邁進していきたいと思っております。

技術コーディネーター  
池浦 清一



【専門分野】

専攻は機械工学です。この分野は、マテリアル・製造プロセス・生産工学・表面処理と多岐に渡っています。

【プロフィール】

地元の製造業でものづくりを生業としてきました。そこでは茨城大学・福島県ハイテクプラザとコンソーシアムを構成したサポイン事業の採択、その後当テクノポリスに在籍し日本大学工学部及び地元ものづくり企業と連携した福島県再エネに係る補助事業を実施し産官学連携に取り組んできました。

【自己PR】

企業のニーズを把握して大学・公設試等とのシーズにマッチングさせる支援等が技術コーディネーターの役割であります。また、競争的資金獲得の支援もします。

管理員兼技術コーディネーター  
佐藤 喜幸



【専門分野】

建築全般(木造・鉄骨造・鉄筋コンクリート造)

【プロフィール】

- ・1982年 福島県立郡山高等技術専門学校 建築科 職業訓練指導員
- ・2010年 福島県立テクノアカデミー郡山 副校長
- ・2014年 公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構 郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター 現在に至る

【自己PR】

主に木造建築に携わり、民間経験や職業訓練指導員として学生指導を通して得た知識や技術、また、企業や団体とのネットワークを活かし、特に一般住宅を市場としている「浅部地中熱利用システム」の普及に向けて支援していきたいと思っております。

技術コーディネーター (非常勤)  
佐藤 正弘



【専門分野】

- ①電機 電子回路(制御回路)、組み込み型マイコンの開発・設計
- ②製品分野(民生用機器:照明、白物家電、空調、AV、衛星受信機などと産業用機器:監視カメラシステム、空調システム、医大問診像伝送システムなど)
- ③営業分野(官公庁、民間企業、一般消費者)

【プロフィール】

3年前まで、電機メーカーで、主に開発・設計業務と営業(機器、システム)、サービス業(企業内福利厚生等)に従事しました。

【自己PR】

関わった設計の製品分野の雑多な経験と、官公庁、民間企業の窓口として営業にも関与しました。ものづくりを中心とした企業の進展に少しでも関与できればと思っています。

技術コーディネーター (非常勤)  
吉田 裕二



【専門分野】

高分子化学工学

【プロフィール】

化学繊維系メーカーに入社後、製造管理、品質管理、商品開発、生産システム開発等、及び関連子会社経営等の業務に従事。

【自己PR】

商品・技術開発や工場事業管理運営等、一貫してものづくり業務に従事してきましたので、この業務経験を活かして地域企業のものづくり活性化を支援していきたいと思っております。

技術コーディネーター (非常勤)  
井上 明博



【専門分野】

化学工学

【プロフィール】

大学卒業後化学会社に入社、本社・工場の工務部門で約42年間、化学プラントの設計部門に携わり、化工計算や予算算出、設計から建設までの工程管理に従事。

【自己PR】

経験からアドバイスや支援できることは  
・化学装置の材質・形状・構造に関すること  
・化学反応に伴う発熱、吸熱時の熱交換器や攪拌に関すること  
・製品の乾燥や除害装置に関すること  
・プラント建設時のLayoutに関すること

## 役員・職員等の紹介

### 公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構 役員

【任期：平成26年6月24日～平成28年6月定時評議員会】平成28年5月11日現在(順不同・敬称略)

理事長	丹治 一郎	郡山地域テクノポリス推進協議会会長 郡山商工会議所会頭
常務理事	齋藤 隆	郡山商工会議所常務理事
理事	福井 邦顕	日本全業工業(株)代表取締役会長
理事	渋谷 重二	郡山地区商工会広域協議会会長 富久山町商工会長
理事	岩谷 幸雄	郡山地域テクノポリス推進協議会副会長 玉川村商工会長
理事	出村 克宣	日本大学工学部長
理事	小沢 喜仁	福島大学理事副学長
理事	小貫 正信	鏡石町産業課長
理事	吉田 純治	石川町産業振興課長
理事	矢部 玄幸	玉川村産業振興課長
監事	古川 光雄	(株)大東銀行執行役員本店営業部長
監事	新野 徳秋	三春町産業課長

### 公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構 評議員

【任期：平成26年6月24日～平成30年6月定時評議員会】平成28年5月11日現在(順不同・敬称略)

評議員	内藤 清吾	郡山商工会議所副会頭
評議員	作田 秀二	郡山商工会議所工業部会長
評議員	林 明博	須賀川商工会議所工業部会長
評議員	柿崎 隆夫	日本大学工学部工学研究所次長
評議員	竹内 誠司	(株)東邦銀行常務取締役郡山営業部長
評議員	遠藤 定則	東北電力(株)郡山営業所長
評議員	鈴木 清昭	(公財)福島県産業振興センター理事長
評議員	安達 和久	福島県商工労働部 再生可能エネルギー産業推進監兼次長
評議員	村上 清喜	須賀川市産業部長
評議員	浜津 佳秀	郡山市産業観光部次長

### 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会委員

平成28年4月24日現在(順不同・敬称略)

会長	丹治 一郎	(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 理事長
副会長	出村 克宣	日本大学工学部長
副会長	鈴木 正博	郡山商工会議所 情報文化部会長
委員	渡邊 達雄	須賀川商工会議所 会頭
委員	渋谷 重二	郡山地区商工会広域協議会会長
委員	阿部 晃造	郡山商工会議所 工業委員長
委員	白内 秀樹	(株)NTT東日本-東北 福島支店 郡山エリア支店長
委員	酒井 良信	(株)エフコム 代表取締役会長
委員	水上 哲夫	(株)ばすわーど 代表取締役
委員	松崎 健一	福島県企画調整部情報政策課長
委員	吉田 和史	福島県商工労働部産業創出課長
委員	大河原 薫	福島県ハイテクプラザ副所長
委員	濱田 清	郡山市政策開発部長
委員	村上 清喜	須賀川市産業部長
委員	柳沼 英夫	鏡石町総務課長
委員	齋藤 隆	(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 常務理事
監事	佐藤 和雄	郡山市産業観光部長
監事	上田 哲	郡山商工会議所開発事業部長

### 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会 ボードメンバー

平成28年5月13日現在(順不同・敬称略)

白内 秀樹	(株)NTT東日本-東北 福島支店 郡山エリア支店長
水上 哲夫	(株)ばすわーど 代表取締役
小林 秀明	(株)福島情報処理センター 郡山システム部部长
二瓶 幸恵	(株)エフコム サービスビジネス本部 本部長代理兼フィールドサービス部 部長
新藤 純也	(株)コンピューターシステムハウス マネージャー
水野 和哉	WIZ専門学校 国際情報工科大学校 校長
大槻 努	大槻電気通信(株) 代表取締役
沼田 克己	プリマックス(株) 営業部長
佐藤 賢二	エリア・マークス(株) 代表取締役
鈴木 朱美	福島リビング新聞社 営業本部 郡山支社長代理 郡山営業部長

### (公財)郡山地域テクノポリス推進機構・事務局

平成28年4月1日現在

常務理事	齋藤 隆	郡山商工会議所出向
事務局長兼事業部長	鈴木 秀明	郡山商工会議所出向
事務局次長兼総務部長	喜古 克広	福島県OB
企画管理課長	猪股 秀行	郡山市派遣
技術振興課長	遠藤 文康	須賀川市派遣
新事業支援課長	柴田 英幸	東邦銀行出向
インキュベーションマネージャー兼技術コーディネーター	佐藤 彰	
技術コーディネーター	池浦 清一	
管理員兼技術コーディネーター	佐藤 喜幸	
非常勤技術コーディネーター	佐藤 正弘	
非常勤技術コーディネーター	吉田 裕二	
非常勤技術コーディネーター	井上 明博	
非常勤事務支援員	安藤 徹	福島県OB
情報化支援担当(郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会)	村上 瑞恵	
本部総務担当	鈴木 琴子	
インキュベーションセンター総務担当	久保田江美	



お問い合わせ／ご相談はお気軽にご連絡ください

## 編集／発行 公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会



〒963-0115 福島県郡山市南二丁目52番地 ビッグバレットふくしま3階  
 TEL.024-947-4400 / FAX.024-947-4475  
 E-mail techno@nm.net6.or.jp URL http://www.techno-media.net6.or.jp/  
 【Facebookページ】https://www.facebook.com/technoandnmc  
 【メールマガジン登録】  
 http://www.techno-media.net6.or.jp/magazine/index.php



この印刷物は、FSC®認証紙と環境にやさしい植物油インキを使用しています。紙へリサイクル可。